

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 目次 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

P 1	第1章 全体総括
P 1	第2章 法人経営部門
	1 部門総括
	2 事業シート
	(1) 法人の運営
	(2) 福祉関係施設の運営管理
	①指定管理施設の運営管理
	②社協施設の適正な運営及び利用の促進
	③賃貸施設の運営及び利用の促進
	(3) 社会福祉大会事業
P 9	第3章 福祉のまちづくり部門
	1 部門総括
	2 福祉のまちづくり課事業シート
	(1) 地域福祉活動計画事業の推進
	(2) 赤い羽根共同募金運動事業・配分事業の推進
	福祉のまちづくり事業・地域助成事業
	(3) 地域福祉受託運営事業
	高齢者ボランティアポイント事業
	児童発達支援地域スクール事業
	(4) ボランティアセンター事業
	ボランティアセンター事業
	ふれあい体育祭事業
	(5) 重層的支援体制整備事業
	重層的支援体制整備事業
	福祉まるごと相談室運営事業
	(6) 地域福祉活動ステップアップ支援事業
P 18	3 地域生活支援課事業シート
	(1) 総合相談事業
	(2) 資金の貸付事業
	生活福祉資金貸付事業
	福祉つなぎ資金貸付事業
	保育士修学資金貸付事業
	(3) 日常生活自立支援事業
	(4) 地域後見サポート事業
	成年後見センター・法人後見事業
	(5) 育英基金事業
	(6) その他福祉受託事業・在宅福祉受託事業
	ひきこもりサポート事業
	生活困窮者自立支援事業
	生活困窮者家計改善支援事業
	生活困窮者就労準備支援事業

P 27	第4章	在宅福祉サービス部門
	1	部門総括
	2	事業シート
	(1)	在宅福祉サービス事業
	(2)	高齢者福祉サービス
	(3)	障がい者福祉サービス

P 34	第5章	附属資料
	(1)	法人経営部門
	(2)	福祉のまちづくり部門
	(3)	在宅福祉サービス部門

第1章 はじめに

令和6年度も第4期松阪市地域福祉活動計画と第Ⅴ期経営計画に基づき、事業計画に沿って各部門で連携して進捗管理を行いながら、それぞれの目標達成に向けて事業を遂行しました。

地域福祉においては、コミュニティソーシャルワーカーや地域担当者、各相談支援の専門職を中心に福祉まるごと相談室と連携しながら取り組みました。また、こども食堂や生活困窮者を支援する団体を支えていくため、松阪市、特例認定特定非営利活動法人フードバンク愛知と「ひろがる・つながる・フードドライブ連携協定」の締結やひきこもり相談支援センター「そ・えーる」の開設など松阪市の重層的支援体制の整備に取り組みました。このほか、継続して取り組んでいる市内の社会福祉法人による公益的な取り組みへの支援は、つどいや研修会を開催して他の社会福祉法人との連携を進めました。

経営においては、本年度より新たな契約期間で指定管理施設の運営をスタートし、飯南高齢者生活福祉センターは、多世代交流センターいいなんとして賃借して運用しました。また、事業マネジメントに基づいて、一部事業所では事業形態を変更して運営を行いました。

そして、各地で大規模な自然災害が発生するなか、事業継続計画(BCP)と災害ボランティアセンター設置マニュアルの見直しや松阪市総合防災訓練に参加しながら計画やマニュアルに基づいた訓練を行いました。このほか、11月に松阪市と災害ボランティアセンター設置運営協定を締結し、大規模災害への対策を進めました。

第2章 法人経営部門

1 部門総括

令和6年度も8月の南海トラフ地震臨時情報や9月の石川県能登地方の記録的大雨など大規模な自然災害が発生しました。こうした中、策定した事業継続計画(BCP)の見直しや、地震発生時に転倒等により避難の妨げになる危険物を撤去するなど環境整備も行いました。

人員・人材の確保においては、就職セミナーや就職フェアへの参加、実習・就職の相談等で大学や高校と連携するなど職員の確保に努めるとともに、これまで不足していた障がい者福祉分野の有資格者を増やすことができました。しかし、退職等により障がい者雇用率が基準を下回り、依然として必要な人員を確保できない事業があるなど、課題が残る結果となりました。

施設運営管理においては、ハートフルみくも、飯南ふれあいセンター、飯南高齢者生活福祉センターの指定管理を継続受託し、本会の施設とともに地域福祉活動や事業所運営の拠点として活用する事が出来ました。しかし、本年度より新たに賃借した「多世代交流センターいいなん」は、施設利用者数が当初の見込みより大幅に下回るなど課題の残るスタートとなりました。また、計画していた嬉野社会福祉センターの大規模修繕は、実施を見送り必要最低限の修繕に留めました。

法人の経営においては、収入面で令和6年4月に介護報酬等が改定されるなど事業所収入に改善が見られました。支出面では、これまで行ってきた人事院勧告に基づく給与改定を見送るなどの対策をしてきましたが、結果として、本年度も収支のバランスが取れず、令和4年度から続く三期連続の赤字となりました。

こうした厳しい経営状況を受け、本会の経営持続性を高めるためには組織体制や事業拠点の見直し、実施事業や適正職員数などを総合的に見直す必要があると判断

し、「松阪社協のあり方検討委員会」に於いて令和7年度より検討していく事としました。

2 事業シート

(1) 法人の運営

(単位:円)

事業名(担当部署)	法人運営事業 (本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所)				
地域福祉活動計画の関連	I II III				
経営計画との関連	4 5				
予算額	325,290,000	執行済額	324,362,165	執行率	99.7%

【取り組み・成果】

- 新たな受託期間の運用を開始し、補助金・受託金や施設修繕・事業活動についての協議を進めた
 - ア 松阪市との補助金・受託金協議
 - イ 施設・事業マネジメント協議
 - ウ 経営改善(人員・収益)に向けた協議(R7 年度より「あり方検討委員会」を立上げ)
- 事業継続計画(BCP)に沿った対応と内容の見直しを行い、松阪市の防災訓練に併せて BCP 机上訓練、職員参集訓練を実施
- 年度当初に充足できなかった部署・職種の職員募集を行い人材の確保に努めた
 - ア 求人掲載ツールの活用
 - イ 学校訪問、三重県内の就職フェアに参加
- 事業所運営に必要な資格保有者を確保するための体制を整えた
 - ア 年度内資格取得者 8名
- 社協職員としての基礎を身に付けるための研修会(被災者支援報告会)を実施した

◆活動実績

- 役員会等の開催 ※開催内容の詳細は P34に掲載
 - 評議員会3回 理事会 5回(うち書面決議1回) 監事監査 2回
 - 評議員選任・解任委員会 1回
- 職員確保の取り組み
 - ア 専門職養成機関、学校へ訪問 大学2校、高校1校
 - イ 福祉の就職フェアに出展 2回(障がい者就職フェア含む)
 - ウ 令和6年度採用職員数(雇用形態変更含む)
 - 正規4名 契約4名 非常勤19名(生活支援員、登録ヘルパー含む)
- 安定した経営に向けた取り組み
 - ア 地域福祉財源確保の為、社協会費への協力を住民、関係団体等に依頼(9,214,410 円)
 - イ 内部監査の実施 7月～8月 各課・支所
 - ウ 基金の計画的な取り崩しを行い、運用資金に充当
- 新人職員への研修の実施(内部・外部研修)
- 全体研修の実施、外部研修への参加
 - ア 地域福祉の研修(能登半島地震被災地支援報告会)
 - イ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程研修への参加(三重県社協主催)
- 職員の健康管理に向けた取り組み

ア ストレスチェックの実施 正規115名 契約71名

(2) 福祉関係施設の運営管理

① 指定管理施設の適正な運営及び利用の促進

(単位:円)

事業名(担当部署)	ハートフルみくも保健福祉センター事業 (三雲支所 地域福祉係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-2				
経営計画との関連	4-(1)				
予算額	16,448,000	執行済額	16,453,940	執行率	100.0%

【取り組み・成果】

○保守点検、施設設備等維持管理、貸館

ア 設備等の自主点検及び保守点検の実施

イ 老朽箇所の修繕

ウ 空調設備4部屋の更新

エ 熱中症警戒アラートの周知、空調設備早期稼動及び扇風機等の活用による熱中症対策

オ 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)による公共施設緊急点検及び利用者周知

○自主事業、施設設備の活用

ア 子育て支援サロン、子ども食堂、障がい者団体との交流、俳句の会、カラオケサークル、地域の敬老事業

イ 福祉まるごと相談室、地域づくり事業との協働によるはあとふる喫茶により、施設の新たな利用や活用につながった

ウ ベビー用品リユース事業を通じ、保健福祉センターが支援相談窓口、交流のきっかけ、新たな福祉活動へつながるプラットホームとして機能

エ 写真ボランティアによる地域の風景写真展、能登災害派遣報告展示、台風10号の影響による三雲地域の写真展示

オ 市民団体と協働し、防災啓発や地球環境を考える学びの企画を実施

カ 福祉活動団体と協働し、地域歳末たすけあい事業及び共同募金啓発パネル展示を実施

キ 松阪市ボランティア連絡協議会三雲支部、老人クラブ連合会三雲支部と共催でボランティアの集いを開催

○防災備品の整備、AED アプリ使用自主訓練及び設置場所の周知

○予告無しのシェイクアウト訓練、避難想定訓練及び誘導放送訓練の実施

◆活動実績

ア はあとふる喫茶 5回

イ 天白クリーン作戦 (10名)

ウ みんなであそぼフェスタ (80名)

エ Xmas ハートフルみんなであそぼう (100名)

オ ボランティアのつどい (70名)

(単位:円)

事業名(担当部署)	ハートフルみくもスポーツ文化センター事業 (三雲支所 地域福祉係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-2				
経営計画との関連	4-(1)				
予算額	28,962,000	執行済額	29,214,521	執行率	100.9%

※予算額に前年度繰越金含む

【取り組み・成果】

○保守点検、施設設備等維持管理、貸館

ア 設備等の自主点検及び保守点検の実施

イ 老朽箇所の修繕

ウ アスレチックジムの新規機種導入、更新、利用者アンケートの実施

エ 熱中症警戒アラートの周知、空調設備早期稼動及び扇風機等の活用による熱中症対策

オ 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)による公共施設緊急点検及び利用者周知

○自主事業

ア 北部商工会主催の七夕笹飾りへ参加し、送迎車への応援ペイントによる震災復興支援及び障がい事業所の地域貢献活動

イ 芝生広場を活用した外遊び遊具の貸し出し

ウ エアロビック連盟との共催による運動教室の開催

エ ハートフルクリスマス開催による、いざという時に動ける体づくりと防災意識の醸成

オ スポーツと福祉交流によるまちづくりを目的とした卓球交流会の開催

○防災備品の整備、AED アプリ使用自主訓練、設置場所の周知

○予告無しのシェイクアウト訓練及び避難想定訓練、誘導放送訓練の実施

○イベント広場駐車区画に白線を引き、駐車場所の明確化及び事故予防

◆活動実績

ア 七夕笹飾「星に願いを!!震災復興支援の想いを届けよう」(約400人)

イ スローエアロビック教室 5回(計72名)

ウ ハートフルクリスマス (28名)

エ 卓球交流大会 (38名)

(単位:円)

事業名(担当部署)	飯南ふれあいセンター事業 (飯南支所 地域福祉係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ				
経営計画との関連	4-(1)				
予算額	8,592,000	執行済額	8,593,430	執行率	100.0%

【取り組み・成果】

○指定管理事業

ア 保守点検の実施・全館エアコン入替え工事完了

イ 防災訓練(大地震も含み通報・避難・消火)の実施、消防署より防災についての講話(年2回)

ウ 絵手紙ボランティアの推進、ボランティアによるいー南カフェにて一日店長、飯南傾聴ボランティア「聴飯会」による交流

エ 自主事業を開催し、生きがいと社会参加の促進

○自主事業

ア いー南カフェを開催することで、地域おこし協力隊、福祉まると相談室、ボランティア連絡協議会等とのつながりができ、地域の参加も増え、交流の場として居場所の一つとなった

イ 子育て支援センターの利用者と町内こども園に通園している子どもを持つ母親を対象とした子ども子育て応援事業をきっかけに、いー南カフェの来店につながり、居場所としての利用が広がっている

◆活動実績

○いー南カフェ ※多世代交流センターいいなんと隔週で開催

ア ひきこもり出張相談会（6名）

イ アイシングクッキー作り（20名）※地域おこし協力隊コラボ

ウ よりそいカフェ（18名）※第三地域・松老連飯南支部との協働

エ クレープ作り（32名）

※地域おこし協力隊コラボ及び福祉まると相談室による健康相談会併設

オ クラフト教室（9名）

カ 1日店長：岡田晴夫さん「みんなで昔の話をしませんか」（20名）

キ 寄せ植え教室（21名）、生け花の会（8名）

ク 冬休みおたのしみ会（30名）

○子ども子育て応援事業「お母さんのためのヨガ教室」の開催（4回）

（単位：円）

事業名(担当部署)	飯高高齢者生活福祉センター事業 (飯高支所 地域福祉係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ				
経営計画との関連	4-(1)				
予算額	12,218,000	執行済額	12,539,995	執行率	102.6%

【取り組み・成果】

○居住事業

ア 居住事業の周知活動

イ 入居者体調急変時の対応（2名）

○施設設備の維持管理及び飯高地域振興局との連携・協議

ア 施設、設備修繕箇所について修繕実施

ア) 受変電設備低圧化に変更

イ) 玄関自動ドア開閉装置取替

ウ) LED照明取替(玄関、ホール一部)

エ) ろ過機昇温ポンプ交換

オ) 給湯配管漏水交換

カ) 雨漏り修繕

イ 日常的な保守点検実施し早期対応に努めた

ア) 浄化槽汚水漏れ

イ) 防火水槽フート弁取替

ウ 飯高地域振興局と連携し施設・防災備品の再点検、補充実施

エ 屋上防水再工事に向け協議

オ 外壁アスベスト調査

- 共同募金事業との協働による自主事業を展開し子ども学習支援、子ども食堂を実施地域住民の参加があった
- 自主事業でクラフト教室の定期開催を新規で開催し、地域の高齢者が集える場となった
- 令和7年度からの高齢者生活福祉センター宿直者 1 名確保

◆活動実績

○居住事業

ア 新規1名 退所1名

○みんなの居場所づくり事業

- ア フラワーアレンジメント教室 (11 名)
- イ 学習会 3回(児童計39名)
- ウ 子ども食堂 2回(計85名)
- エ 手づくりおもちゃを作ろう(工作) 2回(児童計29名)
- オ 子ども縁日(児童10名)
- カ たんぽぽおやつ工房 (児童14名)
- キ クラフト教室 12/13 以降 月2回開催(各日8名)
- ク 珈琲淹れ方教室 (20名)

○台風接近による避難所開設 3日(避難者0名)

② 社協施設の適正な運営及び利用の促進

事業名(担当部署)	松阪支所 (松阪支所)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-2-(2)				
経営計画との関連	4-(1)				
予算額	—	執行済額	—	執行率	—

【取り組み・成果】

○施設設備の維持管理

- ア 食品寄附対応のため、屋外倉庫に保管場所を確保
- イ 組織全体のBCPに向け、物資の保管スペースを拡大

○施設の利用促進

- ア 運営規定外の貸館(土日祝)ニーズに対応
- イ 会議室のサテライトオフィス対応仕様を終了

○施設・事業マネジメントの取り組み

- ア 施設・事業マネジメント対象事業のサービス提供場所変更に伴い安全対策を実施した

◆活動実績

- ふらっとカフェ(みんなの居場所づくり事業)の開催 (月2回)
- 地域交流多目的室での食料提供事業(随時)
- 各種学校の福祉資格取得に向けての勉強会に関する会場提供
- 地域団体の行事開催に関する会場提供
- 企業主催の演劇公演の集客サポート及び会場提供
- 施設見学・視察の受け入れ

(単位:円)

事業名(担当部署)	社会福祉センター管理補助事業 (嬉野支所)
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-2-(1)

経営計画との関連		4-(1)			
予算額	11,695,000	執行済額	11,119,466	執行率	95.1%

【取り組み・成果】

- 施設修繕を緊急性・公益性の高いものから優先的に実施
 - ア 受変電設備の更新
 - イ 玄関自動ドア防護柵の設置、センサー交換
- 地域の交流拠点となる貸館及び事業の実施
 - ア 松阪さんまくらぶ(小学校長期休業子どもの居場所づくり事業)
 - イ うれしの子どもクラブ(子どもの居場所づくり事業)
 - ウ 身障協会等福祉団体、ボランティア団体、サークル等の拠点活動
- 幅広い世代に利用される仕組みづくり(嬉野地区福祉社会協働事業)
 - ア ★のびのび BABY・KIDS ひろば★ ※1
 - イ みんなでイキイキ体操! ※2
 - ウ うれたまごカフェ ※3
 - エ 地域福祉教育(豊地小学校)
- (※1)“孤育て”にしない取り組みとして未就園児とその保護者を対象に開催
- (※2)世代間交流・参加支援を目的に、宅老所協力の誰でも参加できる体操
- (※3)憩いの場・交流の場・気軽に寄れる場としてセルフ式カフェの開催
- 災害への備え
 - ア 事業中の大規模災害に備え事業ごとに行動マニュアル案を協議
- 避難所開設
 - ア 台風接近による避難所開設 4日(避難者 42 名)

③ 賃貸施設の運営及び利用の促進

(単位:円)

事業名(担当部署)	多世代交流センターいいなん事業 (飯南支所)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ				
経営計画との関連	4-(1)				
予算額	3,924,000	執行済額	3,463,692	執行率	88.3%

【取り組み・成果】

- 貸館、自主事業の案内チラシを各戸配布し、活動の周知を行った
- 「赤い羽根共同募金福祉のまちづくり事業」を活用し「いい南カフェ」を運営
 - ア 地域の方が気軽に集えるセルフ式のカフェ 毎月2回第2・4水曜日に開催
- いい南カフェ、太極拳、夏休み勉強会など自主事業を開催し、食堂や2階スペースを有効活用することができた
- 賃貸施設である多世代交流センターの活用について飯南支所全体で検討を行った
- ◆活動実績
 - 健康太極拳 24回(190名)
 - いい南カフェ 10回(114名) ※飯南ふれあいセンターと隔週で開催
 - 子ども子育て応援事業
 - ア 夏休みべんきょう会 (48 名)
 - イ お楽しみ会 (30 名)
 - ※飯南地区福祉会、松本連飯南支部、飯南地区民児協、地域おこし協力隊
 - 芋煮会 (25名)

(3) 社会福祉大会事業

(単位:円)

事業名(担当部署)	社会福祉大会事業 (総務課)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-1-(1)				
経営計画との関連	1-(1)				
予算額	1,615,000	執行済額	1,615,000	執行率	100.0%

【取り組み・成果】

- 社会福祉功労者及び団体の顕彰とボランティアの周知・啓発を目的として開催
- ボランティアや赤い羽根共同募金の啓発、障がい事業所の自主製品販売のブースをはじめ各支所による地域のふれあいコーナーの設置、キッチンカーの出店により来場者増を図った
- ボランティアの啓発では松阪市ボランティア連絡協議会から 19 団体、障がい事業所の自主製品販売では 11 事業所が参加

◆活動実績

- 第20回 松阪市社会福祉大会(来場者約 500 名)
 - 開催日時 令和6年12月1日(日)午前10時～午後12時30分
 - テーマ 「地域の絆と支援の輪で いきいきと自分らしく暮らせるまち松阪」
 - 主催 松阪市、社会福祉法人松阪市社会福祉協議会、松阪市共同募金委員会
 - 場所 嬉野ふるさと会館
 - プログラム オープニング 飯南高等学校吹奏楽部・飯高中学校創作部・金管バンド ゆるり音による合同吹奏楽団
 - プログラム 表彰式 社会福祉功労者及び団体の顕彰(79名31団体)
 - ステージイベント 安楽亭東風(落語)
 - キッズダンス One(ヒップホップダンス)
- 実行委員会の開催 4回※大会記念品の決定含む
- 表彰など審査委員会の開催 1回

第3章 福祉のまちづくり部門

1 部門総括

福祉のまちづくり部門では地域福祉を推進する福祉のまちづくり課と、個別支援を担う地域生活支援課が連携して、第4期松阪市地域福祉計画・松阪市地域福祉活動計画の基本目標である「暮らしを支える体制づくり」「つながりと支え合いの地域づくり」「誰もが大切にされる環境づくり」に取り組みました。

令和6年度末で第4期松阪市地域福祉計画・松阪市地域福祉活動計画策定から2年が経過しました。

福祉のまちづくり課では中間評価作成のため、43住民自治協議会へのヒアリングを行いました。

松阪市が推進する重層的支援体制整備においては松阪市と本会が共通認識を持って地域の支援に取り組むことができるよう協議の場をつくり話し合いを進めてきました。

令和5年度から継続した取り組み、社会福祉法人を中心とした地域における公益的な取組では、生活困窮者をテーマにつどいと研修会を開催。各法人として何ができるかを考え、困窮者支援の理解を深める機会となりました。

松阪市の防災に関しては、松阪市と本会で災害ボランティアセンター運営協定を締結しました。また、松阪市防災訓練に併せて災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を実施し、マニュアルの検証と修正点の洗い出しを行いました。

地域生活支援課では、成年後見制度の啓発による利用促進や、円滑な制度運用ができる体制整備を図りながら松阪市成年後見センターの運営を行いました。また、中核機関として、権利擁護支援における地域連携ネットワークのコーディネート機能や役割を担うとともに、ひきこもり相談窓口においては、ひきこもり地域支援センターそ・えーるの名称にて再出発し、より多くの方に親しみを持っていただけるよう新たな展開を行いました。生活相談支援センター及びアウトリーチ継続支援事業等に於いて支援機関との連携、協働にて、多様化する相談内容に応じた支援を行いました。

生活困窮者自立支援事業においては、相談者の自立と尊厳の確保を目的に、課題がより深刻化する前に課題解決に向けた支援を行いながら、新型コロナウイルス感染症に関連する特例措置として講じられていた施策終了後の複合的課題に対しても継続的な支援を行いました。

2 福祉のまちづくり課事業シート

(1) 地域福祉活動計画事業の推進

(単位:円)

事業名(担当部署)	地域福祉活動計画事業 (福祉のまちづくり課 地域福祉係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ				
経営計画との関連	1-(1)(2)				
予算額	13,453,000	執行済額	13,288,133	執行率	98.8%

【取り組み・成果】

○ 第4期松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

ア 人づくり

ア) 本会主体の取り組み

猫一時預かり事業モデル実施(本所) パパママ防災講座(松阪)

子ども服リユースキッズボランティア体験、中学生ボランティアの受入(嬉野)

茶ちゃ丸見守り隊啓発(飯南)

イ)地域の活動支援

福祉団体と連携した小・中学校への福祉教育、豊地地区見守りネットワークづくり研修会、柿野支援隊活動支援、コミュニティスクールの会議への参画、地域防災講座や行事

ウ)コミュニティコーピング(超高齢社会疑似体験ゲーム)の実施(本会職員、嬉野・花岡・第二・飯南)

イ 場づくり

ア)本会主体の取り組み

鎌田まるごと相談室と連携した子育てカフェ、ふらっとカフェ(松阪)

★のびのび BABY・KIDS ひろば★、うれたまごカフェ(嬉野)

はあとふる喫茶、Xmas ハートフルみんなであそぼう(三雲)

いー南カフェ、飯南ふくしまつり(飯南)

飯高夏休み！冬休み！宿題をやっつけよう！&たんぽぽ子ども食堂(飯高)

イ)本会の事業所と企業・民生委員との連携・交流

ウ)飯高地区デマンド交通体験会、花岡地区・嬉野地区での課題解決協議

エ)ふれあいいきいきサロン(旧宅老所)の社会福祉大会での表彰検討

ウ ネットワークづくり

ア)本会主体の取り組み

寄附提供による支援者と当事者のつなぎ支援、あったかごはんプロジェクトによる企業・ボランティア団体・社会福祉法人・地域住民・就労準備支援事業や参加支援事業対象者との連携、第2回まつさか子どもの居場所づくりミーティングの開催、猫一時預かり事業講演会(全域)

殿中・鎌中制服リサイクルプロジェクトを通じた小中学校との連携(松阪)

子ども服リユースによる団体・企業・学校との連携、URESHINO あったかごはんプロジェクトによる嬉野地区小学校・農業大学校との連携(嬉野)

イ)地域の支援

コープみえの移動販売と地域とのつなぎ支援(飯南)

○第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画の中間評価

ア 地域担当者による全43住民自治協議会へのヒアリング調査

○その他

ア 小地域福祉活動助成金の活用推進や研修など、目的を十分に達成してきたことが確認できたため、小地域福祉活動連絡協議会を解散。引き続き地域の取組みなどの情報発信を地域担当が担う

イ 社会福祉法人を中心とした地域における公益的な取組の推進

ア)つどい・研修会の開催

イ)参加法人による「あったかごはんプロジェクト」への協力(3法人)

ウ)社会福祉法人連携メーリングリストの活用

ウ フードバンク愛知と松阪市、本会と3者でひろがる・つながるフードドライブ連携協定を締結

エ 地域福祉に関する研修会

ア)本会職員向け輪島市支援報告会

イ)地域担当者の先進地視察と伝達研修

(2) 赤い羽根共同募金運動事業・配分事業の推進

(単位:円)

事業名(担当部署)	福祉のまちづくり事業 (本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ				
経営計画との関連	1-(1)				
予算額	6,816,000	執行済額	6,897,661	執行率	101.2%

【取り組み・成果】

○ 一般配分金事業

ア 情報の発信・共募 PR(歳末含)

ア)ステッカー、アンブレラマーカといった自主資材の作成

イ)SNS での定期的な情報発信、『赤い羽根共同募金のつかいみちデータベース はねっと』の記事掲載(社協だより)

ウ)各支所地域によるまつりやイベント等に共同募金ブースを出展

エ)各団体・企業・地域住民と連携した共同募金運動の実施

イ 生活応援ふくし(歳末含)

ア)生活相談支援センターと協議し、リクルートシャツの貸与や企業からのスーツの寄付品を活用し就職活動支援のしくみづくりを行った

イ)「生理用品をあたりまえに」を実施。希望のあった小学校 20 校、中学校 5 校へ生理用品を配布。生理用品を必要とする児童・生徒が受け取ることで、学校内の相談の場へのつながること、学校から本会への相談のつながりのしくみづくりを行った

ウ)「お米で応援プロジェクト」「あったかごはんプロジェクト」「URESHINO あったかごはんプロジェクト」を実施。食糧支援を通じ、相談機関へつながるしくみづくりを行った

ウ 地域福祉教育・人材育成

ア)体験学習や地域探求学習など地域の福祉活動団体や職員による出前講座の実施

イ)福祉教育ガイドの作成と全小中学校への配布、プログラムの活用支援

ウ)講演会、研修会等の開催

講演会・パネルディスカッション「人と動物(猫)の福祉について、一緒に考えてみませんか？」実施。同時に、猫一時預かり事業のボランティア募集の呼びかけを実施

エ コミュニティ交通支援

ア)移動手段を支える松阪コミュニティバス 6 路線への協賛

イ)飯高地区デマンドバス交通利用体験会を実施

オ 障がい(児)者サポートブック推進

ア)NPO 法人エールの会と「サポートブックを作るお手伝い会」を開催。サポートブックの改正版を作成

カ 子ども子育て応援、みんなの居場所づくり・交流(歳末含)

ア)子育て世代の家庭を対象にした防災啓発、講座

「パパママ防災講座 ～身近な知識で赤ちゃんを守ろう～」を開催

イ)本会の各拠点にてみんなの居場所づくり・交流の場づくりを行った

○地域歳末たすけあい配分金事業

ア 交通事故を防ぎ安全に生活できる環境づくりを目的とした、新小学一年生に赤い羽根共同募金のロゴ入り交通安全傘を寄贈

(単位:円)

事業名(担当部署)	地域助成事業 (本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ				
経営計画との関連	1-(1)				
予算額	20,352,000	執行済額	20,352,000	執行率	100.0%

【取り組み・成果】

○一般配分金事業

- ア 地域福祉活動推進 住民自治協議会や地区福祉会に助成(40地区)
- イ 地域づくり(地域の絆)
 - ア)住民自治協議会・地区福祉会の地域計画又は総会計画に盛り込まれている地域交流行事に助成(41団体)
 - イ)地域福祉活動計画「住民の主体的な地域づくり」の対象団体に助成(2団体)
- ウ 市民活動(公募:はじめの一步部門・一般部門) 有償ボランティア団体などに助成(7団体)
- エ 福祉活動 福祉団体が行う活動支援として助成(16団体)
- オ 子どもの居場所づくり(三重の赤い羽根共同募金百貨店プロジェクトの活用)
 - ア)学習支援や子ども食堂、遊びの拠点づくり等に助成(9団体)
 - イ)子どもの居場所づくり助成団体、子ども食堂活動団体のネットワーク構築を目的とした「第2回まつさか子どもの居場所づくりミーティング」を開催(参加7団体)
 - ウ)農林水産省東海農政局の政府備蓄米無償交付申請を行う団体支援
- カ 地域福祉教育推進(学校が地域と取り組む福祉教育の推進)として小中学校に助成(30校)
- キ 障がい者施設行事 障がい者施設を拠点とした地域交流行事に助成(13件)
- ク 宅老所活動支援 宅老所立ち上げ、継続的な活動に対する支援に助成(73件)
- ケ 子ども行事 自治会や子ども会が地域とのつながりを深める行事に助成(153件)
- コ 子育て支援行事 子育てサークルや放課後児童クラブが行う地域交流行事に助成(28件)

○歳末配分金事業

- ア 地域歳末たすけあい配分金事業 住民自治協議会や地区福祉会に 助成(36地区)

(3) 地域福祉受託運営事業

(単位:円)

事業名(担当部署)	高齢者ボランティアポイント事業 (福祉のまちづくり課 地域福祉係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-1-(2)				
経営計画との関連	1-(1)				
予算額	3,225,000	執行済額	3,006,373	執行率	93.2%

【取り組み・成果】

- 松阪市の広報5月号にてささえさん活動について紹介記事を掲載
- 松阪市の担当課より、登録事業所へのボランティア受入れ状況把握のためのアンケート調査 2回
- マッチングの傾向として、デイサービスから演芸披露などの依頼が多かった

- ポイント取得が多い方には意欲維持のため、転換交付金以外にも活動成果を評価することを市と検討した

◆活動実績

- 新規登録者 23名
 ○ボランティア受入れ事業所登録 新規2件
 ○オリエンテーション開催 6回(計20名)
 ○ささえさん研修交流会 2回(計25名)
 ○ポイント還元

交付額(円)	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000	合計
交付活動員数(名)	8	6	6	10	39	69
転換ポイント数	160	240	360	800	3,900	5,460
合計額	8,000	12,000	18,000	40,000	195,000	273,000

(単位:円)

事業名(担当部署)	児童発達支援地域スクール事業 (福祉のまちづくり課 地域福祉係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-1-(2)				
経営計画との関連	1-(1)				
予算額	6,920,000	執行済額	6,744,598	執行率	97.5%

【取り組み・成果】

- 松阪市(そだちの丘)や実行委員会と協議し、台風接近のため2日間中止となったが、夏期に8日間の開催
 ○昨年度に引き続き、地域理解のため、地域住民のレクリエーション講師の協力を得た(鈴の森住民自治協議会、神ノ木台健康イキイキ仲良しクラブ)
 ○日中一時預かりの事業所数増加等により参加者数が減少。事業の今後について実行委員会で協議し、令和7年度より地域の協力を中心とした内容で松阪市が直接運営することとして受託が終了
 ○長年の本会受託において、長期休暇時の居場所を担うことや地域住民の講師協力による地域理解の促進など、一定の成果が得られたとして令和7年度事業の転換となった

◆活動実績

- 地域スクールの開催 8日間
 ア 参加児童 実数 14名 実延人数 43名
 イ ボランティア 実数 60名 実延人数 66名
 ウ 運営人数(延べ)エールの会26名、そだちの丘職員8名、生活アシスタント20名
 ○保護者説明会 2回(計2名)
 ○ボランティア説明会 2回(計21名)
 ○実行委員会 5回

(4) ボランティアセンター事業

(単位:円)

事業名(担当部署)	ボランティアセンター事業 (福祉のまちづくり課 地域福祉係)
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-1-(1)(2)

経営計画との関連		1-(1)			
予算額	5,348,000	執行済額	5,111,777	執行率	95.6%

【取り組み・成果】

○ボランティア相談・活動支援体制の充実

- ア ボランティアサロンにて SaTa-Sen を実施
- イ 入所・通所施設等へのボランティア周知やマッチング
- ウ 傾聴ボランティア養成講座修了者の既存団体加入サポート
- エ 各団体の存続や後継者についての相談対応
- オ ボランティア交流会(松ボ連全体交流ボッチャ大会)の開催
- カ 松阪市社会福祉大会でのボランティア活動啓発(参加 21 団体)
- キ 傾聴ボランティア養成講座(全6回)、フォローアップ講座開催(2回)
- ク 手話サロン「手話で防災タウンウォッチング」を開催(参加者 19 名)

○福祉教育、ボランティア活動に関わる機会の提供

- ア サマーボランティアスクールを全 6 回開催
- イ 福祉教育
 - ア)ユニバーサルデザイン教育(市内小) 8校
 - イ)高齢者・障がい(市内小・中学校) 8校 14回
 - ウ)防災教育(市内小・中学校) 11校 13回
 - エ)高齢者・障がい(自治会) 1 回
 - オ)防災教育(自治会、民児協、サロン等) 10回

○災害ボランティアセンターの体制整備

- ア 松阪市の防災訓練にて松阪市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの内容検証のための立ち上げ訓練を実施
- イ 松阪市と本会にて松阪市災害ボランティアセンターセンターの設置運営等に関する協定を締結
- ウ 災害ボランティアセンターサポートスタッフ養成講座(全5回)、フォローアップ講座の開催
- エ 内閣府のモデル事業「官民連携による被災者支援三者連携モデル事業として、顔の見えるつながりづくりを行った
- オ ゆるやあかにつながるサロンを市民活動センターと協働で開催 2回

◆活動実績

松阪市ボランティア連絡協議会登録状況一覧

	松阪	嬉野	三雲	飯南	飯高	計
グループ (単位:G)	47G 562 名	9G 108 名	8G 74 名	5G 123 名	4G 33 名	73G 900 名
個人	12 名	1 名	5 名	2 名	0 名	20 名
計	574 名	109 名	79 名	125 名	33 名	920 名

(単位:円)

事業名(担当部署)	ふれあい体育祭事業 (福祉のまちづくり課 地域福祉係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ				
経営計画との関連	1-(1)				
予算額	1,110,000	執行済額	1,093,291	執行率	98.5%

【取り組み・成果】

○新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことを受け、実行委員会にて食事・餅

- つきを復活し、一日開催とした(前年度半日開催)
- 松阪市ボランティア連絡協議会のボランティアの他、松阪看護専門学校をはじめとする学生ボランティアと様々な競技を通じて交流を深め、地域での交流への良いきっかけとなった
 - 衛生面に気を付けながら、餅つき体験を実施。日常的に行うことが難しい体験の機会となった

◆活動実績

- 実行委員会 4回
- 開催日時 6/2(日) 10時～15時
- 当日参加者総数 503名
 - ア 障がい者団体 6団体74名(付添い含む)
 - イ 障がい者事業所 13事業所180名(職員含む)
 - ウ 障がい者個人 3名(付添い含む)
 - エ ボランティア 一般79名 学生73名
 - オ その他 94名

(5) 重層的支援体制整備事業

(単位:円)

事業名(担当部署)	重層的支援体制整備事業 (アウトリーチ・参加支援・地域づくり) (本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所)				
地域福祉活動計画の関連	I II				
経営計画との関連	1-(1)(2)				
予算額	63,394,000	執行済額	63,386,426	執行率	100.0%

【取り組み・成果】

- アウトリーチ事業
 - ア 潜在的ニーズを抱える人の早期発見のための支援機関等への周知と連携強化
 - ア)民生委員児童委員協議会、住民自治協議会、地区福祉会、相談支援機関などへの周知
 - イ)毎月のコミュニティソーシャルワーカー会議での協議・報告
 - ウ)関係機関や関係者等からの相談を受け、本人に寄り添った継続的支援、信頼関係を形成するための電話・訪問・手紙・同行支援等を実施
 - エ)「あったかごはんプロジェクト」における伴走支援の実践
 - オ)嬉野地区内小学校の就学援助制度利用世帯を対象とした「URESHINO あったかごはんプロジェクト」の実施(91世帯中16世帯へ配布うち2件継続支援)
 - カ)本会職員や福祉まるごと相談室サポートチーム会議等で情報共有。潜在的な福祉課題の発掘や早期発見につなげた
 - イ アウトリーチ支援プラン作成と定期的な見守り活動
 - ア)新規プラン作成件数 1件、再作成 2件
- 参加支援事業
 - ア ひきこもり相談窓口「そ・えーる」と連携し、相談者に対してアセスメントの実施、利用者の特技と地域をつなぐ支援を行った
 - イ 多機関協働ネットワーク会議にてコミュニティソーシャルワーカーが参加支援の事例を発表。参加支援の視点や支援方法について関係機関に周知した
 - ウ 参加支援プラン作成には至っていないが、既に作成済のプランに基づき本人とその受け入れ先(地域資源)にコミュニティソーシャルワーカーがアプローチを行った

○地域づくり事業

ア 地域住民のニーズ・生活課題等の把握

地域の会議体での情報共有やヒアリング、アンケート調査等で、ニーズや課題を把握し、把握内容を地域担当者と共有し、地域のしくみづくりへつなげた

イ 福祉まるごと相談室と連携し、プラットフォーム構築のための会議を開催

ウ 地域住民の活動支援や SNS を利用した情報発信

ア)住民自治協議会や地区福祉会を中心とした福祉活動支援

イ)課題解決のための情報・助成金・ボランティア・モノ等の紹介

ウ)民生委員の研修企画・運営支援や、自治会や地域住民、福祉事業所等の相談対応

エ 福祉まるごと相談室との連携

ア)居場所づくりの協議・設立・運営

イ)地域診断シートの作成

ウ)民生委員や地域役員を対象としたコミュニティコーピングの実施

エ)暮らしまるごとちゃちゃマップによる資源の見える化の活用検討・同サイトお知らせ欄の活用

○松阪市との連携

ア 本会職員で協議し「松阪市の重層体制整備における課題協議報告書」を作成し松阪市と意見交換を行った

イ 市への事業報告書式について修正検討・変更

◆活動実績

新規相談件数300件 アウトリーチプラン作成3件 参加支援プラン作成0件

(単位:円)

事業名(担当部署)		福祉まるごと相談室運営事業 (嬉野・三雲・飯南・飯高支所)			
地域福祉活動計画の関連		I-1-(1)			
経営計画との関連		2-(1)			
予算額	25,267,000	執行済額	25,141,256	執行率	99.5%

【取り組み・成果】

○健康、福祉の総合相談

《嬉野》

ア 様々な地域の活動へ地道に通うなどした周知活動が、相談件数増加につながった。前年度より 82件相談件数増加(約 16%増)

イ 嬉野交番と情報共有など連携強化を図ってきた結果、嬉野交番経由の相談依頼が増加した

《三雲》

ア 多様な相談ケースが多く、民生委員からの相談も増えた。就学後の課題や引きこもり等、つなぎ先のないケースも多く社協等の他機関と連携しながらアウトリーチ支援を行った

《飯南》

ア 高齢化率の高い地域であり 65 歳以上の相談が多かった。介護、病気、健康以外にも経済的課題の相談が多く、介護保険や制度に該当しないケースでは伴走的な支援で状況改善を図った

イ ご家族や支援関係機関からの相談件数も増えており、身近な相談窓口として

の定着が進んでいる

《飯高》

- ア 支援対象者年齢は 65 歳以上が 84.6%、50～65 歳未満が 20.5%。相談内容は病気・健康、介護、経済的課題(生活困窮)が多かった
- イ 本人、家族からの相談が多かったが、支援関係機関、民生委員からの相談もあり、民生委員の負担軽減にもつながった
- ウ 8050 問題など潜在的な課題もあるなか、見守り体制のある地域性を活かし、民生委員、地域住民と関係構築に努めた

○健康づくり、介護予防の事業実施と啓発

《嬉野》

- ア 既存の地域資源に働きかけ、健康づくりの啓発や出前講座、出張相談会を実施した

《三雲》

- ア 保健センターと情報共有をして来年度協働できる内容を検討した
- イ 包括事業の実態把握にて、健康指導や居場所への周知をした

《飯南》

- ア 本会の事業、地域の集いで健康づくりに関する出前講座を実施し、健康教育・健康づくりの啓発をした
- イ 地域の祭りに参加し、健康づくりと介護予防啓発をした

《飯高》

- ア サテライトデイ、リフレッシュママの会、まるごとサロンで多世代に健康教育・健康づくりの啓発をした

○見守り、支援のネットワークづくり

《嬉野》

- ア 本会や地域包括支援センターと連携して、豊地・中原まちづくり協議会と地域の見守りネットワーク体制を含めた、地域課題についての協議を重ねた

《三雲》

- ア 各住民自治協議会定例会、民生委員児童委員協議会やオレンジチーム会議等に参加することで地域等の相談や活動につながった
- イ 居場所づくりのカフェを実施 7 回

《飯南》

- ア 住民自治協議会や民生委員児童委員協議会等の総会・定例会、地域の集いや催しに参加して早期の相談につながるような顔の見える関係性を構築した
- イ 「飯南地域における見守り体制構築のための会議」に参加し、関係機関と高齢者の見守りに関する情報や課題を共有することで地域課題の把握や早期の相談につなげている

《飯高》

- ア けあまねっと、森診療所勉強会等に参加し、介護関係機関と情報共有、交流することでケース対応につながった
- イ プラットフォーム会議を森、波瀬で実施。川俣は住自協の健康福祉部会を中心に今後実施へ向けて動いていることを把握した

(6) 地域福祉活動ステップアップ支援事業

(単位:円)

事業名(担当部署)	地域福祉活動ステップアップ支援事業 (福祉のまちづくり課)
-----------	----------------------------------

地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-(1)				
経営計画との関連	1-(3)				
予算額	189,000	執行済額	179,124	執行率	94.8%

【取り組み・成果】

- 松阪市内の社会福祉法人が連携し、地域課題・生活課題解決の検討・実施するネットワーク体を構築することを目的としてつどいや研修会を開催
- 三重県社会福祉協議会の地域福祉活動ステップアップ支援助成金を活用
- つどい参加法人の「あったかごはんプロジェクト」への協力

◆活動実績

- 第3回『社会福祉法人を中心とした地域における公益的な取組のつどい』
開催日時 10/16(水) 18時30分～20時
テーマ 孤立・生活困窮課題で、『フードドライブ』を 取り組むことについて
場 所 松阪市社会福祉協議会 松阪支所
参加法人 10 法人
- 第1回『社会福祉法人を中心とした地域における公益的な取組の研修会』
開催日時 3/14(金) 18時30分～20時
テーマ 松阪市内における生活困窮者の支援について
重層的支援体制整備における社会福祉法人による「地域における公益的な取組」の役割
場 所 松阪市社会福祉協議会 松阪支所
参加法人 7 法人
- あったかごはんプロジェクトへの参加法人 3法人
- 内部協議の開催 4回
- メーリングリストを活用した社会福祉法人への情報発信

3 地域生活支援課事業シート

(1) 総合相談事業 (単位:円)

事業名(担当部署)	総合相談支援事業 (本所、松阪・嬉野・三雲)				
地域福祉活動計画の関連	I-1-(1)				
経営計画との関連	2-(2)				
予算額	3,379,000	執行済額	3,344,086	執行率	99.0%

【取り組み・成果】

- 心配ごと相談
ア 松阪支所(平日)、嬉野支所(月1回)で定期相談を実施。利用実績に応じた実施回数の見直しを検討のうえ、松阪支所は令和7年度より曜日を限定して継続、嬉野支所は令和6年度末をもって終了とした
- 法律相談
ア 月2回の法律相談を実施し、予約出来なかった相談者に対しては、次回相談日の案内や他相談場所への案内を行った
- 司法書士相談
ア 司法書士相談会について、2か月に1回実施、関係機関への周知を行いながら、相談支援を行っている支援者に対して法的な相談へのニーズに応えた

◆活動実績

- 心配ごと相談(年間) 松阪支所 57件 嬉野支所 3件

- 法律相談(年間、定員12名/回) 272名
- 司法書士相談(年間、定員5名/回) 30名

(2) 資金の貸付事業

(単位:円)

事業名(担当部署)	生活福祉資金貸付事業 (地域生活支援課 権利擁護係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅲ-1-(2)				
経営計画との関連	2-(2)				
予算額	9,564,000	執行済額	8,731,067	執行率	91.3%

【取り組み・成果】

○緊急小口資金等の特例貸付に係る貸付金償還困難な方への対応

- ア 生活状況等を確認のうえ、生活相談支援センターや就労、家計等の支援として関係機関へつなげた
- イ 相談のうえ、償還免除や猶予申請を行った
- ウ 特例貸付の償還免除者に対して三重県社会福祉協議会が実施したアンケートに対し、生活相談支援センターと情報共有を行った
- エ 未償還者に対して特例貸付フォローアップ支援事業「アウトリーチ支援事業」として、三重県社会福祉協議会の職員と共に訪問を実施、生活状況の確認を行った

○通常貸付での自立・生活支援、社会参加のための相談・支援

- ア 生活相談支援センターや保護自立支援課等との連携
- イ 貸付の対象に至らなかったケースは他制度や相談窓口の紹介
- ウ 外国籍の方への相談については、ポケットークや英語文章を活用した対応

◆活動実績

○緊急小口資金	20件	1,540,000 円
○福祉費		
ア 障害自動車購入費	1件	690,000 円
イ 葬祭費	0件	0円
ウ 転宅費	1件	387,000 円
エ 小規模住宅改修費	1件	73,000 円
オ 住宅改修費	0件	0円
カ 生活保護受給世帯の生活必需品購入費	1件	170,000 円
キ 療養費	0件	0円
ク 技能取得費	2件	2,220,000 円
○教育支援資金	25件	13,736,000 円
○総合支援資金	1件	678,000 円
○生活福祉資金貸付コロナ特例貸付		
判定年度免除申請	44件	20,587,130 円
次年度以降非課税免除	29件	9,479,190 円
任意免除	25件	8,624,440 円
猶予	41件	16,800,000 円

(単位:円)

事業名(担当部署)	福祉つなぎ資金貸付事業 (地域生活支援課 権利擁護係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅲ-1-(2)				
経営計画との関連	2-(2)				
予算額	844,000	執行済額	84,000	執行率	10.0%

※予算額に前年度繰越金含む

【取り組み・成果】

○生活が維持できるように速やかに対応した

○貸付について、保護自立支援課と対応時の協議及びマニュアルを作成

◆活動実績

○貸付件数 5件 84,000 円

(単位:円)

事業名(担当部署)	保育士修学資金貸付事業 (地域生活支援課 権利擁護係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-3				
経営計画との関連	2-(2)				
予算額	15,047,000	執行済額	14,968,719	執行率	99.5%

【取り組み・成果】

○指定保育士養成施設の学生に修学資金の貸付

○保育士修学資金貸付猶予審査会の開催

○三重県教育委員会、三重県私学会への事業周知依頼

ア 令和5年度入学者5名のうち2名、令和3年度入学者10名のうち1名が松阪市内保育園等へ就労(令和4年度は現状、0名)

○令和6年度の募集開始(9月)

ア 主要な養成施設、高等学校へ訪問し、周知や学生の支援について進路指導担当者へ協力を依頼

◆活動実績

○令和6年度入学者(貸付1年目) 前期10名後期10名へ貸付金を送金

○令和5年度入学者(貸付2年目) 前期5名後期5名へ貸付金を送金

○貸付金償還5名 1,350,000 円

(3) 日常生活自立支援事業

(単位:円)

事業名(担当部署)	日常生活自立支援事業 (地域生活支援課 権利擁護係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅲ-1-(1)				
経営計画との関連	2-(2)				
予算額	24,475,000	執行済額	31,245,513	執行率	127.7%

【取り組み・成果】

○令和5年度から各支所に専門員配置となり、新規利用者との契約手続きや支援について引き継いだ。また、各支所専門員が新規調査から契約までの動きが取れるようになり、必要時には連携して支援を行うことができた

○重層的ネットワーク会議に参加し、知識を深め他機関との交流を持つことができた

- 県社協主催の専門員連絡会議に出席し、事業の変更点を確認した
- 全社協主催の専門員実践力強化研修会 初任者研修(10/29)、現任者研修(12/19.20)に参加した
- 三重県社会福祉協議会主催の生活支援員研修会(12/12)へ参加、本会主催の生活支援員スキルアップ研修会(1/29)を開催した
- 成年後見制度に9件つないだ。また、そのうち7件が成年後見センターと連携し、本人や親族に対して申し立て書類の作成の段階から携わることができた

◆活動実績

- 全国社会福祉協議会主催の専門員実践力強化研修会へ参加
初任者コース1名、現任者コース1名
- 三重県社会福祉協議会主催の生活支援員等研修会へ参加
生活支援員12名、専門員3名
- 本会主催の生活支援員スキルアップ研修会を開催
生活支援員12名、専門員5名

○令和6年度相談・契約実績 (単位:件)

区分	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計
相談援助件数	272	280	3,812	120	4,484
契約件数	19	6	11	0	36
解約件数	20	5	5	1	31

○実利用者数件数(令和7年3月末現在) (単位:件)

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
73	49	77	7	206

○生活支援員 登録人数27名 活動人数27名 延べ支援回数 3,878回

(4) 地域福祉活動推進事業・地域後見サポート事業 (単位:円)

事業名(担当部署)	成年後見センター事業 (地域生活支援課 権利擁護係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅲ-1-(1)				
経営計画との関連	2-(2)				
予算額	19,433,000	執行済額	18,397,560	執行率	94.7%

【取り組み・成果】

- 地域後見サポート事業運営委員会を開催し、活動に対し相談助言を受けながら事業を行った
- 津家庭裁判所松阪支部の書記官と松阪支部管内の市町(松阪市・多気町・明和町・大紀町・大台町)の中核機関・後見センターが集まり、情報交換会を行った
- 松阪市地域連携ネットワーク協議会を開催し、津家庭裁判所松阪支部・関係機関と成年後見制度に関する情報交換や市長申し立てに関わる事例を通じて課題検討を行った
- 市民向け・専門職向けの研修会の講師依頼があり、成年後見制度や松阪市成年後見センターの周知を行った
- 健康福祉総務課主催の多機関(行政・福祉まると相談室・後見センター)が出席する支援会議にて情報共有や連携を図った

◆活動実績

- 広報・啓発
ア 来所相談時の制度説明、パンフレットの配布

- イ 松阪市成年後見センター主催の研修会の開催「もめんノートと成年後見制度」
- ウ 市民・福祉専門職からの依頼による研修会の開催 4回

○相談業務

- ア 281件(認知:135件、精神:64件、知的:41件、その他:30件、不明:11件)

○利用支援

- ア 申立て支援(申立て書類作成相談支援・受理面談同席:34件)
- イ 後見人支援(後見人等就任時の情報提供・定期事務報告書作成支援:10件)

○関係機関との連携

- ア 地域後見サポート事業運営委員会 6回
- イ 松阪市地域連携ネットワーク会議 2回
- ウ 津家庭裁判所松阪支部管内中核機関情報交換会 2回
- エ 三重県権利擁護支援研修・調査企画会議 2回
- オ 成年後見制度利用促進に向けた関係機関会議 1回
- カ 市長申立て審査会に委員として出席 2回

○成年後見制度資質向上研修参加 3回

○成年後見制度利用促進市町支援事業スキルアップ研修参加 2回

○成年後見制度利用促進市町支援事業研修参加(基礎・応用) 3回

(単位:円)

事業名(担当部署)		法人後見事業 (地域生活支援課 権利擁護係)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅲ-1-(1)			
経営計画との関連		2-(2)			
予算額	1,216,000	執行済額	1,840,267	執行率	151.3%

【取り組み・成果】

- 地域後見サポート事業運営委員会を開催し、受任しているケースの相談助言を受けながら支援を行った
- 法人後見受任依頼が4件(後見2・保佐1・補助1)あり、法人後見の受任が期待されているうち3件は法的手続きが必要な課題があるなどの理由で受任を見送ったが、1件は本人が10代と若く、担当が変わりながら長期的な支援出来る体制が望ましいことから受任した
- 令和5年に松阪市外に転出し、法人後見受任の要件に該当しなくなった被保佐人の後任の選任について、家庭裁判所と情報共有を行いながら支援し、後任の選任に至った。今後、本人と後任の保佐人の関係性が構築出来るよう引継ぎを行う
- 親族との関わりがなかった被保佐人が死亡し、火葬や埋葬等を複数保佐人で受任していた司法書士と共に行った
- 被保佐人の母親が死亡し、被保佐人の意思決定支援をしながら、喪主として葬儀や火葬を行えるよう支援を行った

◆活動実績

- 受任件数9件 (後見:4件、保佐:4件、補助:1件)
- 被保佐人死亡に伴う終了 (保佐:1件)
- 保佐人辞任に伴う終了 (保佐:1件)
- 成年後見人材育成研修参加 4回

(5) 育英基金事業

(単位:円)

事業名(担当部署)	育英事業 (飯南支所)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-3				
経営計画との関連	2-(2)				
予算額	21,919,000	執行済額	777,055	執行率	3.5%

※予算額に前年度繰越金含む

【取り組み・成果】

- チラシを飯南地区へ全戸配布、飯南高校を訪問し事業周知をおこなった
- 運営委員会を開催し、給付による要件について運営委員会にて検討を行った
- 一次募集では3名の予約生、二次募集では2名の申請があり、問い合わせも増加傾向にあるが、経済的に困っている学生については収入要件により申請ができない事案も発生している

前年度末 未償還額	4,064,000 円
令和6年度 貸付額	360,000 円
令和6年度 償還額	914,000 円
令和6年度 未償還額	3,510,000 円

○育英事業給付

前年度末 給付額	1名	300,000 円
令和6年度 給付額	1名	300,000 円

(6) その他福祉受託事業・在宅福祉受託事業

(単位:円)

事業名(担当部署)	ひきこもり支援推進事業 (地域生活支援課 生活相談支援係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅲ-1-(3)				
経営計画との関連	2-(2)				
予算額	12,005,000	執行済額	11,763,484	執行率	98.0%

【取り組み・成果】

○窓口と相談体制などの周知

- ア 社協だより、広報まつさか、ホームページのほか、県内ラジオ局、新聞各社により取り上げていただいた結果、「そ・えーる」の愛称と共に窓口の存在について広く周知することができた
- イ 出張相談における実績が伸び悩んだが、開催前における周知啓発の見直しに工夫が必要であると結論付け、周知の一環として、次年度も引き続き概ね中学校区単位での出張相談を継続する方針とした

○相談支援と支援体制整備

- ア 生活相談支援センター特に就労準備支援事業と協働し、居場所運営や訪問支援に注力したことで、当事者への直接的支援を効果的に行うことができた
- イ コミュニティソーシャルワーカーなどと協働し相談対応を行うことで、切れ目なく、取りこぼしのない支援体制が構築されつつある
- ウ ひきこもり支援における広域的支援体制強化事業について、8月1日より三重県と業務委託契約を締結。非常勤職員を雇用し関連業務に従事いただけただけのほか、家族のつどい4回の開催のうち、松阪市外より2名の利用があった
- エ 居場所運営における支援メニューとして、従来の協力企業のほか、松阪市観光協会などからも軽作業を提供いただいた。また、クライアントと共に作業を行う

ことで、良好な関係を築くことができ、同時に本人理解を深める機会となった

○安心できる居場所の提供

ア よりそいサポーターが関わる強みを活かした「ちょっ蔵居い場所」を提供。活動内容を明示化し、一方で押し付けのない提示を心掛けた結果、参加者がストレスを感じることはない、魅力ある居場所づくりを目指すうえで手応えを感じることができた

イ 公認心理師や、生活相談支援センターに講話いただき、学びと、家族同士の分かち合いの機会を提供できた

ウ 8月の広域的支援体制強化事業の受託をきっかけに、園芸療法士である職員と共に地域づくりの構想を具体的に描くことができ、次年度の計画に反映できた

○よりそいサポーターの育成と活動支援

ア 昨年度に引き続き、養成講座を開催し、「よりそいの在り方」を学んだことで、新たに9名のよりそいサポーターが加入。

イ 居場所「ちょっ蔵居い場所」に加え、9月より本会松阪支所主催の「ふらっとカフェ」での活動を開始。よりそいサポート活動の機会が増え、実践力の向上につながった

ウ 学びと企画立案の機会として、よりそいサポーターワーキングを継続開催。グループワークの機会を重ねたことで、主体性の向上につながり、サポーター同士の関係性が深まった

◆活動実績

○相談の内訳

ア 相談対応

新規実数 63件 継続延べ数 762件

イ 支援方法内訳

電話 278件、来所 170件、メール 1件、LINE 31件、出張3件、
訪問 84件、PSW 16件、郵送 82件、その他(共有など)242件

○居場所やつどいの開催と参加数

ア 当事者の居場所「ちょっ蔵居い場所」開催 25回(延べ79名)

イ 「ちょっ蔵居い場所」よりそいサポーター実践回数 延べ50名

ウ 家族のつどい開催 4回(53名)

○よりそいサポーター

ア 養成講座 (39名)

イ ワーキング 6回(59名)

○ひきこもり支援連携会議

ア 連携会議開催 3回

イ 資源の視察 2回

(単位:円)

事業名(担当部署)	生活困窮者自立相談支援事業 (地域生活支援課 生活相談支援係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅲ-1-(2)				
経営計画との関連	2-(2)				
予算額	23,584,000	執行済額	22,957,869	執行率	97.3%

【取り組み・成果】

○相談支援

ア 複合的な課題を抱えた相談者の対応について、継続して関わる場合には意識的に早期のプラン作成を行うことで、令和5年度と比較して、プラン作成件数が増加した

イ 生活福祉資金貸付制度におけるコロナ特例貸付の償還猶予や、償還困難な方の生活面の立て直しを含めた返済の見通しを一緒に考えるなどの対応を生活福祉資金担当者と協働して行った

ウ 居住支援について、居住困窮者への物件提供を行っている民間企業からの協力申出があり、保護自立支援課と対応。低価格の物件を希望する相談者の住居探しの際の選択肢の一つとして協力いただけることとなった

○就労支援

ア ハローワーク松阪との連携について、生活保護受給者等就労自立促進事業を積極的に活用。令和5年度と比較して生活保護受給者等就労自立促進事業の利用件数が増加した

イ ひきこもり地域支援センターそ・えーる主催の「家族のつどい」で、就労支援員が研修講師を務めた。また、「仕事」をテーマとして「『そのうちに』を行動に～スモールステップの成功例～」と題した講話を行った

○無料職業紹介

ア 生活相談支援センター独自での訪問に加え、共同募金の「企業訪問」に同行するなどし、無料職業紹介・就労準備支援事業の協力事業所の開拓を行った

◆活動実績

支援内容	内訳	件数
相談支援	新規相談受付	429 件
	継続相談	5,203 件
	プラン作成	90 件
就労支援	就職決定	54 件
	面接のためのスーツ貸出	11 件
	履歴書証明写真の撮影	13 件
住居確保給付金	延べ相談	116 件
	申請	9 件
	支給決定	9 件
その他	相談支援員養成研修	1 名修了

(単位:円)

事業名(担当部署)	生活困窮者家計改善支援事業 (地域生活支援課 生活相談支援係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅲ-1-(2)				
経営計画との関連	2-(2)				
予算額	5,585,000	執行済額	5,585,000	執行率	100.0%

【取り組み・成果】

○家計管理に関する支援

ア 市税などの滞納がある相談者に対して、松阪市収納課などへ同行するなどの支援を通じて、相談者の家計に過度の負担のない安定した納税などにつなげることができた

イ 令和5年度と比較し、家計に関する相談件数が増加しており、それに伴い家計

再生プランの作成件数も増加している

○会議等への参加

- ア 個別ケースのケース会議を開催し、関係する各機関との連携を図った
- イ 重層的支援会議及び支援会議への参加し、家計の視点からの意見・助言などを行った(8回参加、年度明けに延期になった会議を含めると参加依頼は10回)
- ウ ひきこもり地域支援センターそ・えーる主催の「家族のつどい」で、家計改善支援員が研修講師を務めた。また、「お金」をテーマとして「将来への備え～家計相談のあれこれ～」と題した講話を行った

◆活動実績

支援内容	件数
相談	912件
家計再生プラン作成	31件
弁護士や司法書士等への連携支援 (法テラス、多重債務連携システム、消費生活センター等への相談含む)	10件

(単位:円)

事業名(担当部署)	生活困窮者就労準備支援事業 (地域生活支援課 生活相談支援係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅲ-1-(2)				
経営計画との関連	2-(2)				
予算額	6,405,000	執行済額	6,260,511	執行率	97.7%

【取り組み・成果】

- 相談者の状況に合わせた就労準備支援プログラムを作成。就労経験がない方に、就労体験やボランティア体験、軽作業の体験を重ねてもらい、自身の能力や適性を知ってもらうことができた
- 就労準備支援事業利用者に、あったかごはんプロジェクトなどの本会のイベントや、地域の方が管理されているガーデンの花や野菜の苗植えなどにボランティア体験として参加いただいた。また、地域の中で活躍していただくことで、自己有用感を高めてもらうことができた
- 一般社団法人松阪市観光協会から、継続した軽作業の依頼をいただいた。就労準備支援事業利用者に取り組んでいただき、定期的な外出や人と関わりを持つ機会となった
- 就労体験・ボランティア体験の協力事業所として、新たに2件の事業所と1件の個人の方に登録いただいた
- ひきこもり地域支援センターそ・えーる主催の「家族のつどい」で、就労準備支援員が研修講師を務める。「仕事」をテーマとして『そのうちに』を行動に～スモールステップの成功例～と題した講話を行った

◆活動実績

○就労準備支援プログラム作成・相談件数

- ア 相談(延べ) 263件
- イ 就労準備支援プログラム作成 8件
- ウ 就労体験・ボランティア体験同行(体験前の打ち合わせも含む) 72件

○主な支援の内容

- ア 熊野の郷、ベルファーム、松阪図書館就労体験同行
- イ あったかごはんプロジェクト、お米で応援プロジェクトの準備・配布ボランティ

- ア、地域の方のガーデンでの種まき・苗植え作業同行、就労継続支援 B 型事業所
見学・体験同行
- ウ さわやか苑、ワーカーズコープ見学、一般社団法人松阪市観光協会の軽作業へ
の取り組み支援
- その他
 - ア 「家族のつどい」で講師を務め、就労準備支援事業の事例紹介を行った
 - イ ひきこもり支援連携会議への出席

第4章 在宅福祉サービス部門

1 部門総括

令和6年度は報酬改定により全体的にプラスとなったものの、物価高騰や天候による事業休止の影響がありました。介護保険事業では利用者の減少などにより減収となりましたが、障害福祉事業では利用者増と報酬改定の効果で事業収支が増収となり、介護保険事業を上回る結果となりました。

事業マネジメントの方針に基づき、「福っき体操くらぶまつさか」を再編し、「サン・ウイングスみくも」の就労継続支援B型事業を「嬉野ゆうゆう」へ移転し、生活介護事業所として運営しました。収益改善策として、水光熱費や福祉有償運送の料金を見直し、共同生活援助事業の水光熱費は令和7年1月から、福祉有償運送は令和7年4月から値上げを実施しました。「はーとりあ飯高」では、事業形態について検討し令和7年4月より外部サービス利用型から介護サービス包括型共同生活援助事業へ変更する方針を決定しました。

併せて、令和6年度から義務化された法定研修や訓練を計画・実施し、法人全体のBCP見直しに伴い、各事業所のBCPを修正、職員の安否確認訓練も実施しました。今後も災害に備えた研修や訓練を継続し、利用者と職員の安全確保に努めていきます。

1 事業シート

(1) 在宅福祉サービス事業

(単位:円)

事業名(担当部署)	在宅福祉サービス事業 (在宅福祉サービス課)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅰ、Ⅱ-1 2、Ⅲ				
経営計画との関連	3				
予算額	1,180,000	執行済額	1,142,075	執行率	96.8%

【取り組み・成果】

○法令遵守

ア 年2回の内部監査を実施し、必要に応じて指導を行った

イ 委員会の開催の確認(感染症)

ウ 委員会の開催(虐待防止・身体拘束適正化検討)

エ 研修会(感染症・BCP・虐待防止・身体拘束適正化検討)の開催及び訓練(BCP・感染症・虐待防止)を実施した

オ 法人BCP見直しに伴う事業所BCP見直し修正を指示した

○人材育成や有資格者の養成によるサービスの質の向上

ア 管理者会議を開催した

イ 利用者満足度調査及び虐待防止アンケートの実施により課題解決に向けた取り組みを行った(障がい事業所)

ウ 利用者満足度調査の結果、課題を抽出し職員間で共有した(介護保険事業所)

エ 虐待などについて職員が相談及び報告ができる体制整備として、職員を対象に虐待防止アンケートを実施した

オ 介護福祉士受験対策講座により1名介護福祉士に合格した

カ 管理者育成として個別指導及び書類作成などの指導を行った

○財源確保

ア 事業マネジメントに沿った運営の進捗状況を確認した

イ 令和7年1月から共同生活援助の水光熱費値上げを実施した

- ウ 令和7年4月から福祉有償運送の値上げを決定した
- エ 令和7年4月から介護予防支援事業所の指定取得を決定した
- オ 令和7年4月から「はーとりあ飯高」共同生活援助事業を介護サービス包括型へ運営形態の変更を決定した
- カ 令和7年度予算作成にあたり支出削減としてパソコン・携帯電話・車輛保有台数の見直しを行った
- キ 事業所規模に応じた適正な職員配置を見直した
- 事故を減らすための取り組み
 - ア 事故原因の分析を行いリスクマネジメント冊子の作成と周知による注意喚起を行った
 - イ 災害時危険予測に基づき施設内環境を見直し危険物の撤去をした
 - ウ 幹部会・衛生委員会を通じた車輛事故防止の注意喚起と安全運転講習会へ反映した
- 感染症対策
 - ア ノロウイルス感染後の出勤解除基準を決定した
 - イ 感染症対策研修及び机上訓練を実施した
- 事務作業効率化による負担軽減
 - ア 介護業務システムの改善要求をした
 - イ 他の包括支援センターのシステム説明会を実施し比較検討した

(2) 高齢者福祉サービス

事業名	訪問介護事業(松阪・飯高)		
担当部署	訪問介護事業所		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)、(2)

◆事業活動収支 (単位:円)

	松阪支所	飯高支所	収支計
収入(決算)	27,610,539	24,506,360	52,116,899
支出(決算)	33,595,166	22,770,264	56,365,430
差引	△5,984,627	1,736,096	△4,248,531

【取り組み・成果】

- 居宅介護支援事業所へ状況報告書と一緒に空き情報を送り、新規や追加利用につながった
- 物価高騰による福祉有償運送の対価見直しを行い、令和7年4月から値上げの方針を決定した
- 登録ヘルパー募集のチラシを作成し、地元の商店等に張り出してもらったが応募はなかった(飯高)

事業名	通所介護事業(嬉野・三雲・飯南・飯高)		
担当部署	通所介護事業所		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)、(2)

◆事業活動収支 (単位:円)

	嬉野支所	三雲支所	飯南支所	飯高支所	収支計
収入(決算)	67,950,461	56,979,820	91,803,635	45,014,868	261,748,784
支出(決算)	66,289,448	52,705,740	78,024,332	55,105,062	252,124,582
差引	1,661,013	4,274,080	13,779,303	△10,090,194	9,624,202

【取り組み・成果】

- 事業所内で事例検討会を行い機能訓練指導員の育成を図った(飯南)
- 要配慮者利用施設における避難訓練を実施した(三雲・飯高)
- 南海トラフを想定した避難訓練(シェイクアウト・津波)・火災訓練を実施した(三雲)
- 高齢者福祉センター事業と協同で炊き出し訓練を行い、地域住民との交流を図った(飯高)
- サービス提供時間6～7時間を7～8時間へ変更するためシミュレーションを実施したが、課題の解決に時間を要するため変更を見送った(嬉野)
- 福祉送迎運転講習を受講し、車輛事故防止に努めた(三雲)
- 機能訓練加算(飯高)・口腔機能向上加算(飯南)を算定し収益改善に努めた
- 生活相談員へ事前指導を行い内部監査に管理者と同行し実地指導したことで育成につながった
- 緊急時に対応できるように、経験の浅い生活相談員を育成した

事業名	総合事業(松阪)			
担当部署	福っきー体操くらぶ			
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目	(1)、(2)

◆事業活動収支 (単位:円)

	松阪支所
収入(決算)	10,170,450
支出(決算)	10,492,388
差引	△321,938

【取り組み・成果】

- 事業マネジメントにより利用定員及びサービス提供時間を変更し、職員体制を見直したが、目標値に利用者数が達しなかった
- 他機関との連携により出張講座を行った結果、新規利用につながった
- 要介護認定更新後、要介護認定となっても継続利用が可能となりサービスを継続した

事業名	外出支援通所サービス運営事業(飯高)			
担当部署	飯高サテライト			
経営計画との関連性	目 標	1	実施項目	(1)

◆事業活動収支 (単位:円)

	飯高支所
事業活動収入	9,122,000
事業活動支出	9,077,266
その他の活動による支出	37,534
差引	0

【取り組み・成果】

- 利用者ニーズにもとづく創作活動やレクリエーションの実施など、閉じこもり予防・介護予防運動を積極的に取り入れた
- 新規利用者の募集チラシを町内全戸配布したが、利用者増にはつながらなかった

事業名	居宅介護支援事業(松阪・嬉野・飯高)			
担当部署	居宅介護支援事業所			
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目	(1)、(2)

◆事業活動収支 (単位:円)

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	収支計
収入 (決算)	51,560,190	59,543,805	33,564,555	144,668,550
支出 (決算)	44,021,013	52,790,000	26,426,594	123,237,607
差引	7,539,177	6,753,805	7,137,961	21,430,943

【取り組み・成果】

- 他法人との合同研修会を開催し資質向上と連携強化に取り組んだ
- 介護予防支援事業の指定取得を検討し、令和7年度から取得する方針に決定した
- 看護学生や介護支援専門員合格者の実習指導により、職員の自己研鑽と指導力向上につながった
- 支所間研修にて重層的支援体制整備事業に向けた地域福祉係や、他機関とのネットワーク構築につながった
- 地域の多職種交流会に参加し、医師との連携を強化した
- 主任介護支援専門員会議で新人職員マニュアル、契約書、重要事項説明書を見直した
- ケアプランデータ連携システム導入について検討したが、参入している事業所数が少ないために導入しないことを決定した(松阪)

事業名	地域包括支援センター事業 ※介護予防支援事業を含む			
担当部署	第二地域包括支援センター・第三地域包括支援センター			
経営計画との関連性	目 標	1、2、3	実施項目	1-(1)、2-(1)、(2) 3-(1)、(2)

◆予算額 (単位:円)

	第二包括(予防プラン含む)	第三包括(予防プラン含む)
予算額	65,736,000	45,771,000
執行済額	65,621,855	45,087,195
執行率(収入)	99.8%	98.5%

【取り組み・成果】

- 防災訓練後の研修として三雲地域で出前講座を開催した。発災時、地域での支え合いについて考えるきっかけとなった(第二)
- 事例検討会を開催し新たな取組として、認知症初期集中支援チームの関わる事例を提供し、認知症初期集中支援チームの役割と実際の関わり方について学んでもらった(第二)
- 地域担当と協働しコープみえの移動販売実施に向けて取り組んだ(第三)
- 地域担当と協働し飯高地区デマンド交通「かはだ」の体験会を実施した。利用促進に向けて様々な意見を収集した(第三)
- 生活アドバイザー・公証役場職員・司法書士を招き、地域に向け「終活」講演会を開催した結果、多くの方の関心の高さがうかがえた(第三)

事業名	介護保険認定調査事業(松阪・嬉野・飯高)			
担当部署	居宅介護支援事業所			
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目	—

◆事業活動収支 (単位:円)

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	収支計
収入(決算)	18,004,030	4,701,180	1,250,700	23,955,910
支出(決算)	16,830,686	3,853,370	1,035,290	21,719,346
差引	1,173,344	847,810	215,410	2,236,564

【取り組み・成果】

- ハローワークやフリーペーパー、介護支援専門員の任意団体に求人募集や説明会を行い、4名の認定調査員を確保した
- 調査員3名の契約終了により、調査エリアを再調整したが、調査件数の偏りが大きいため、更に調査員の確保が必要である
- 認定調査員会議を実施し、調査の資質向上を図った
- 認定調査員の介護支援専門員資格更新の案内を行い、資格更新のサポートを実施した
- 同行訪問や勉強会を開催し、新人調査員の資質向上に努めた

(3)障がい者福祉サービス

事業名	居宅介護事業(松阪・飯高) ※同行援護、移動支援サービスを含む			
担当部署	訪問介護事業所			
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目	(1)、(2)

◆事業活動収支 (単位:円)

	松阪支所	飯高支所	収支計
収入(決算)	25,461,490	11,311,990	36,773,480
支出(決算)	13,322,501	6,095,184	19,417,685
差引	12,138,989	5,216,806	17,35,795

【取り組み・成果】

- 登録ヘルパー募集のチラシを作成し、地元の商店等に張り出してもらったが応募はなかった(飯高)
- 同行援護の資格を取得し、サービス利用者増につながった(松阪)

事業名	生活介護事業(嬉野・三雲)			
担当部署	嬉野生活介護事業所、サン・ウイングスみくも			
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目	(1)、(2)

◆事業活動収支 (単位:円)

	嬉野支所	三雲支所	収支計
収入(決算)	53,368,050	52,368,806	105,736,856
支出(決算)	48,803,710	44,149,608	92,953,318
差引	4,564,340	8,219,198	12,783,538

【取り組み・成果】

- 南海トラフ地震を想定した避難訓練(シェイクアウト・津波)及び火災訓練を実施した(三雲)
- 福祉送迎運転講習を受講し運転技術及び意識向上を図った(三雲)

○サービス管理責任者の資格を取得し資格保有者を充実させた(嬉野・飯高)

事業名	就労継続支援 B 型事業(松阪・嬉野・飯高)			
担当部署	えみわーく、嬉野ゆうゆう、飯高じゃんぷ			
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目	(1)、(2)

◆事業活動収支 (単位:円)

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	収支計
収入(決算)	38,708,854	45,736,275	40,122,477	124,567,606
支出(決算)	36,069,390	41,791,172	28,794,051	106,654,613
差引	2,639,464	3,945,103	11,328,426	17,912,993

【取り組み・成果】

- 要配慮者利用施設における避難訓練を実施した(飯高)
- 休日作業及び休日開所により収益増につながった(嬉野・飯高)
- あゆみ特別支援学校の事業所フェアに参加し、実習や卒業後の新規利用につながった(松阪)
- 原材料費高騰のため、えみりあカフェの価格を変更し、商品展開を縮小することで仕入単価を抑制した(松阪)
- 利用者と家族を対象に防災研修会と交流会を開催した(飯高)
- 他事業所と連携し、障がい者のサービス利用につながった(嬉野)
- 地域のイベントで自主製品の販売を行うことで地域交流へつながった(嬉野・飯高)
- 宮前まちづくり協議会と連携し、特産品開発のタオルの梱包が新たな請負につながった(飯高)

事業名	多機能型事業(飯南)			
担当部署	夢風船			
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目	(1)、(2)

◆事業活動収支 (単位:円)

	飯南支所
収入(決算)	50,926,820
支出(決算)	45,847,803
差引	5,079,017

【取り組み・成果】

- 利用者・家族を対象に防災研修会と交流会を開催した
- 地域に潜在化した障がい者を地域担当との情報共有・連携により、サービス利用につながった
- 新たな請負先の開拓により請負の増収につながった
- 相談支援従事者初任者研修及びサービス管理責任者初任者研修受講により資質向上をはかった
- 通所介護と協働で芋煮会を開催し、通所介護利用者及び地域との交流を図った

事業名	日中一時支援事業(嬉野・三雲・飯南・飯高)			
担当部署	嬉野ゆうゆう、サン・ウイングスみくも、夢風船、飯高じゃんぷ			
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目	(1)、(2)

【取り組み・成果】

- 放課後から4名の日中一時支援を開始し、令和7年度からの生活介護利用につな

げた(三雲)

- 日中一時のサービス利用を開始し、令和7年度からの就労継続支援B型利用につなげた(飯高)

事業名	外部サービス利用型共同生活援助事業(三雲・飯高)		
担当部署	みくもホーム、はーとりあ飯高		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)、(2)

◆事業活動収支 (単位:円)

	三雲支所	飯高支所	収支計
収入(決算)	15,020,224	14,421,602	29,441,826
支出(決算)	15,159,230	15,069,043	30,228,273
差引	△139,006	△647,441	△786,447

【取り組み・成果】

- 要配慮者利用施設における避難訓練を実施した
- 令和7年1月から水光熱費の値上げを実施した
- 令和7年度から義務化される地域連携推進会議要綱を作成し、立ち上げ準備をした
- 地域連携推進会議の立ち上げ準備として、「地域ふれあい交流会」を開催した(三雲)
- 収益改善を検討した結果、令和7年度より介護サービス包括型へ事業形態を変更する方針に決定した(飯高)
- 休日に日中一時利用することで世話人の人件費削減につながった

事業名	障がい者特定相談事業・障がい児相談事業(松阪)		
担当部署	福らむ		
経営計画との関連性	目 標	3	実施項目 (1)、(2)

◆事業活動収支 (単位:円)

	松阪支所
収入(決算)	15,234,130
支出(決算)	10,410,945
差引	4,823,185

【取り組み・成果】

- 相談支援専門員の募集をしたが、採用には至らず募集を継続した
- 多機関との情報共有、連携によるサービスの質の維持を図った

第5章 附属資料

1 法人経営部門

(1) 理事会・評議員会・監事監査

○第1回理事会（理事6名、監事2名出席）

開催日時 令和6年4月1日(火)午前9時30分 開催場所 松阪支所大会議室

議題など		審議結果
議案第1号	常務理事の選定について	承認
議案第2号	事務局規程の一部改正について	承認
議案第3号	業務管理体制整備規程の一部改正について	承認
議案第4号	松阪支所居宅介護事業所運営規程の一部改正について	承認
議案第5号	松阪支所居宅介護事業所同行援護事業運営規程の一部改正について	承認
議案第6号	就労継続支援B型事業運営規程(就労継続支援B型事業所 えみわーく)の一部改正について	承認
議案第7号	介護予防支援運営規程(松阪市第二地域包括支援センター)の一部改正について	承認
議案第8号	就労継続支援B型事業運営規程(嬉野ゆうゆう)の一部改正について	承認
議案第9号	嬉野生活介護事業運営規程(嬉野生活介護)の一部改正について	承認
議案第10号	生活介護事業運営規程(サン・ウイングスみくも)の一部改正について	承認
議案第11号	外部サービス利用型共同生活援助事業運営規程(みくもホーム)の一部改正について	承認
議案第12号	介護予防支援運営規程(松阪市第三地域包括支援センター)の一部改正について	承認
議案第13号	通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯南支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
議案第14号	多機能型事業運営規程(障害者多機能型事業所夢風船)の一部改正について	承認
議案第15号	居宅介護支援事業運営規程(松阪社協飯高支所居宅介護支援事業所)の一部改正について	承認
議案第16号	訪問介護及び第1号訪問事業(訪問介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯高支所訪問介護事業所)の一部改正について	承認
議案第17号	通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯高支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
議案第18号	飯高支所居宅介護事業所運営規程の一部改正について	承認
議案第19号	就労継続支援B型事業運営規程(飯高じゃんぱ)の一部改正について	承認
議案第20号	外部サービス利用型共同生活援助事業運営規程(はーとりあ飯高)の一部改正について	承認

○R5 決算監査（監事2名出席）

開催日時 令和6年5月31日(金)午前9時30分 開催場所 松阪支所大会議室

議題など
(1)令和5年度事業報告について (2)令和5年度収支決算について

○第2回理事会（理事8名、監事2名出席）

開催日時 令和6年6月10日(月)午前9時30分 開催場所 松阪支所大会議室

議題など	審議
------	----

		結果
議案第1号	令和5年度事業報告について	承認
議案第2号	令和5年度収支決算について	承認
議案第3号	令和6年度事業計画の修正について	承認
議案第4号	令和6年度第1次補正予算について	承認
議案第5号	評議員選任候補者の推薦について	承認
議案第6号	役員選任候補者の推薦について	承認
議案第7号	職員給与規程の一部改正について	承認
議案第8号	退職手当金規程の一部改正について	承認
議案第9号	令和6年度第1回評議員選任・解任委員会の開催について	承認
議案第10号	令和6年度定時評議員会の開催について	承認

○定時評議員会（評議員10名、理事2名、監事2名出席）

開催日時 令和6年6月20日(木)午前10時00分 開催場所 松阪支所大会議室

議題など		審議結果
議案第1号	令和5年度事業報告の承認について	承認
議案第2号	令和5年度収支決算の承認について	承認
議案第3号	令和6年度事業計画の修正について	承認
議案第4号	令和6年度第1次補正予算の承認について	承認
議案第5号	理事の選任について	承認
議案第6号	理事の選任について	承認

○R6随時監査（監事2名出席）

開催日時 令和6年11月21日(木)午前9時30分 開催場所 本所大会議室

議題など
(1)令和6年度中間事業報告について (2)令和6年度中間収支決算について

○第3回理事会（理事9名、監事2名出席）

開催場所 令和6年12月3日(火)午前9時30分 開催場所 松阪支所大会議室

議題など		審議結果
議案第1号	令和6年度中間事業報告について	承認
議案第2号	令和6年度中間収支決算について	承認
議案第3号	令和6年度第2次補正予算について	承認
議案第4号	定款の一部変更について	承認
議案第5号	契約職員就業規則の一部改正について	承認
議案第6号	非常勤職員就業規則の一部改正について	承認
議案第7号	被服等貸与に関する規程の一部改正について	承認
議案第8号	通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯高支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
議案第9号	就労継続支援B型事業運営規程(飯高じゃんぷ)の一部改正について	承認
議案第10号	外部サービス利用型共同生活援助事業運営規程(みくもホーム)の一部改正について	承認
議案第11号	外部サービス利用型共同生活援助事業運営規程(はーとりあ飯高)の一部改正について	承認
議案第12号	令和6年度第2回評議員会の開催について	承認

○第2回評議員会（評議員12名、理事2名、監事2名出席）

開催日時 令和6年12月13日(金)午前10時00分 開催場所 松阪支所大会議室

議題など		審議 結果
議案第1号	令和6年度中間事業報告の承認について	承認
議案第2号	令和6年度中間収支決算の承認について	承認
議案第3号	令和6年度第2次補正予算の承認について	承認
議案第4号	定款の一部変更について	承認

○第4回理事会（理事8名、監事2名出席）

開催日時 令和7年2月26日(水)午前9時30分 開催場所 松阪支所大会議室

議題など		審議 結果
議案第1号	令和7年度事業計画について	承認
議案第2号	令和7年度収支予算について	承認
議案第3号	基金の処分について	承認
議案第4号	令和6年度第3次補正予算について	承認
議案第5号	定款の一部変更について	承認
議案第6号	職員給与規程の一部改正について	承認
議案第7号	職員就業規則の一部改正について	承認
議案第8号	契約職員就業規則の一部改正について	承認
議案第9号	育児休業及び育児短時間勤務に関する規程の一部改正について	承認
議案第10号	介護休業及び介護短時間勤務に関する規程の一部改正について	承認
議案第11号	経理規程の一部改正について	承認
議案第12号	車輛使用規程の一部改正について	承認
議案第13号	多世代交流センターいいなん施設管理運営規程の一部改正について	承認
議案第14号	通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協三雲支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
議案第15号	介護予防支援運営規程(松阪社協松阪支所居宅介護支援事業所)の新設について	承認
議案第16号	介護予防支援運営規程(松阪社協嬉野支所居宅介護支援事業所)の新設について	承認
議案第17号	介護予防支援運営規程(松阪社協飯高支所居宅介護支援事業所)の新設について	承認
議案第18号	就労継続支援B型事業運営規程(就労継続支援B型事業所えみわーく)の一部改正について	承認
議案第19号	就労継続支援B型事業運営規程(嬉野ゆうゆう)の一部改正について	承認
議案第20号	生活介護事業運営規程(サン・ウイングスみくも)の一部改正について	承認
議案第21号	多機能型事業運営規程(障害者多機能型事業所夢風船)の一部改正について	承認
議案第22号	日中一時支援事業運営規程(嬉野ゆうゆう)の一部改正について	承認
議案第23号	日中一時支援事業運営規程(サン・ウイングスみくも)の一部改正について	承認

議案第24号	日中一時支援事業運営規程(障がい者多機能型事業所夢風船)の一部改正について	承認
議案第25号	外部サービス利用型共同生活援助事業運営規程(はーとりあ飯高)の廃止について	承認
議案第26号	介護サービス包括型共同生活援助事業運営規程(はーとりあ飯高)の新設について	承認
議案第27号	施設の長他の重要な職員の選任について	承認
議案第28号	令和6年度第3回評議員会の開催について	承認

○第3回評議員会（評議員12名、理事2名、監事2名出席）

開催日時 令和7年3月11日(火)午前10時00分 開催場所 松阪支所大会議室

議題など		審議結果
議案第1号	令和7年度事業計画の承認について	承認
議案第2号	令和7年度収支予算の承認について	承認
議案第3号	令和6年度第3次補正予算の承認について	承認
議案第4号	定款の一部変更について	承認

②評議員選任解任委員会（評議員選任・解任委員5名、理事2名出席）

開催場所 令和6年6月20日(木)

議題など		審議結果
議案第1号	評議員の選任について	承認

(2) 施設の運営・管理

① 貸館利用状況

事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度
松阪支所	貸館件数(件)	250	202	503
	利用者数(名)	2,813	2,277	4,207
嬉野社会福祉センター	貸館件数(件)	1,436	1,454	1,554
	利用者数(名)	14,845	17,605	21,622
ハートフルみくも保健福祉センター	貸館件数(件)	600	588	598
	利用者数(名)	9,477	14,774	12,726
ハートフルみくもスポーツ文化センター	貸館件数(件)	3,400	3,815	4,020
	利用者数(名)	37,846	47,760	45,344
飯南ふれあいセンター	貸館件数(件)	612	574	897
	利用者数(名)	7,658	7,570	12,703
多世代交流センターいいなん	貸館件数(件)	252	200	169
	利用者数(名)	1,328	1,284	1,118
飯高高齢者生活福祉センター	貸館件数(件)	176	136	141
	利用者数(名)	897	907	1303

② 施設入居の状況

事業名		令和4年度	令和5年度	令和6年度
飯高高齢者生活福祉センター	入居者数(件)	4	4	3
	延べ入居日数(日)	1,117	1,056	1,316

2 福祉のまちづくり部門
(1) ボランティア派遣実績

活動分野	種別	松阪		嬉野		三雲		飯南		飯高		計	
		依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣
		件	名	件	名	件	名	件	名	件	名	件	名
障がい者関係	団体支援	1	23									1	23
	施設支援	1	3			1	8					2	11
	個別支援	7	17									7	17
	行事支援	10	67	67	67	3	33	1	4			81	171
高齢者関係	食事サービス			22	99			15	162	9	9	46	270
	安否確認	12	72	22	115			3	3			37	190
	施設支援	8	34			11	25					19	59
	行事支援	24	66			20	38					44	104
	居場所づくり							166	1033			166	1033
	その他	76	101	18	18			16	125	24	62	134	306
児童関係	団体支援												
	居場所づくり												
	託児												
	行事支援	5	32			4	11	2	14			11	57
	見守り活動					212	2332					212	2332
	その他	18	180									18	180
学校	福祉体験支援	15	102									15	102
	その他	5	24					1	8			6	32
他施設	環境整備									36	105	5	12
	その他												
その他	使用済み切手整理	21	161									21	161
	リサイクル活動	24	186			12	132					36	318
	地域支援	7	38			18	97			11	39	36	174
	啓発活動	10	84	2	2							12	86
	環境整備												
合計		244	1190	131	301	281	2676	204	1349	80	225	940	5741

(2)福祉まるごと相談室 健康、福祉の総合相談実績

	相談 件数	来所	電話	訪問	出張 相談	メール	その他
嬉野	598	140	233	151	73	1	0
三雲	722	169	385	103	40	2	23
飯南	429	109	192	92	34	1	1
飯高	257	33	151	45	19	0	9
合計	2,006	451	961	391	166	3	33

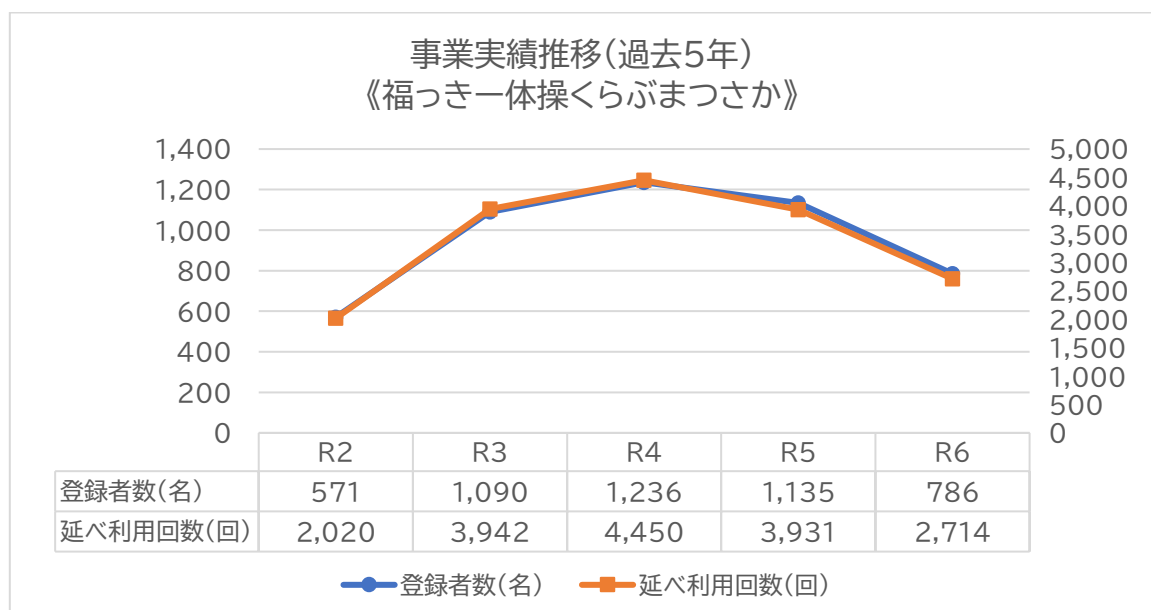
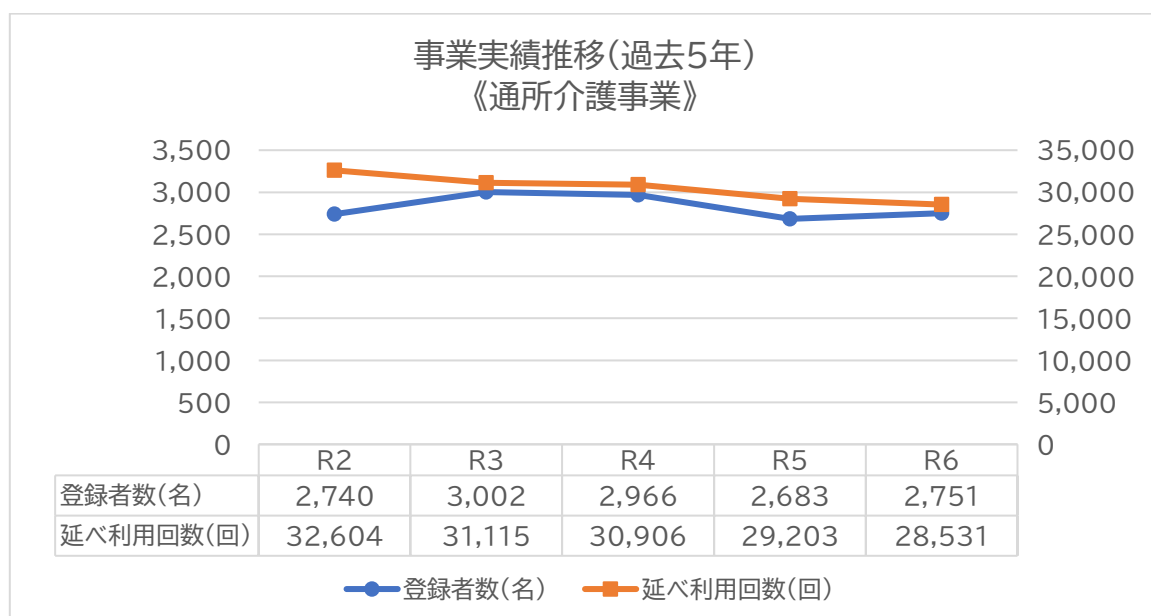
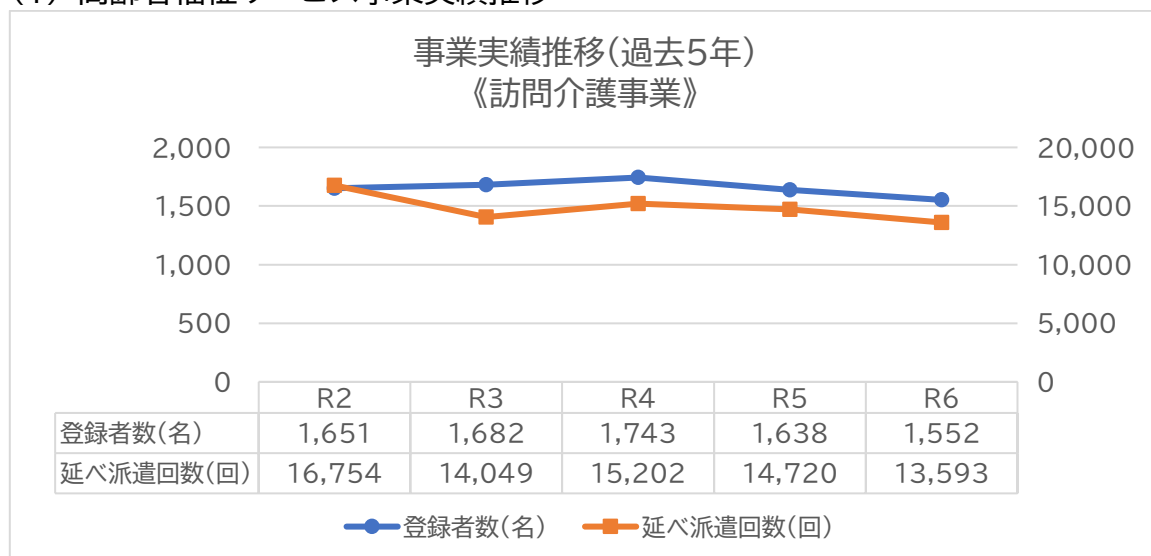
○相談内容

(単位:件)

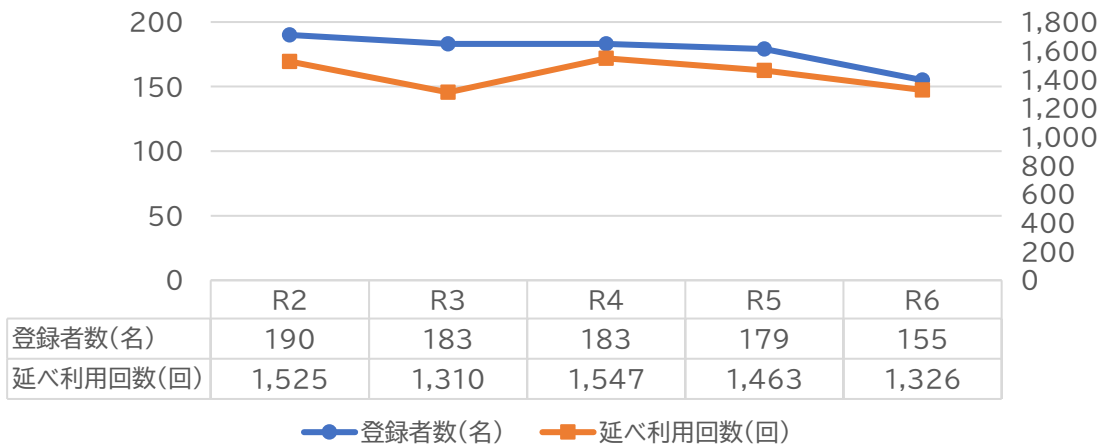
相談内容	嬉野	三雲	飯南	飯高
介護について	89	423	94	38
障がいについて	154	95	25	105
病気・健康について	385	123	124	122
経済的課題(生活困窮、就労支援等)について	158	57	144	32
生活環境について	168	44	30	37
身寄り・終活について	98	4	7	3
子育てについて	18	23	20	0
ひきこもり・不登校について	12	35	13	6
DV・虐待について	17	40	1	7
人間関係について	69	21	44	18
その他	58	92	146	33
計	1,226	957	648	401

3 在宅福祉サービス部門

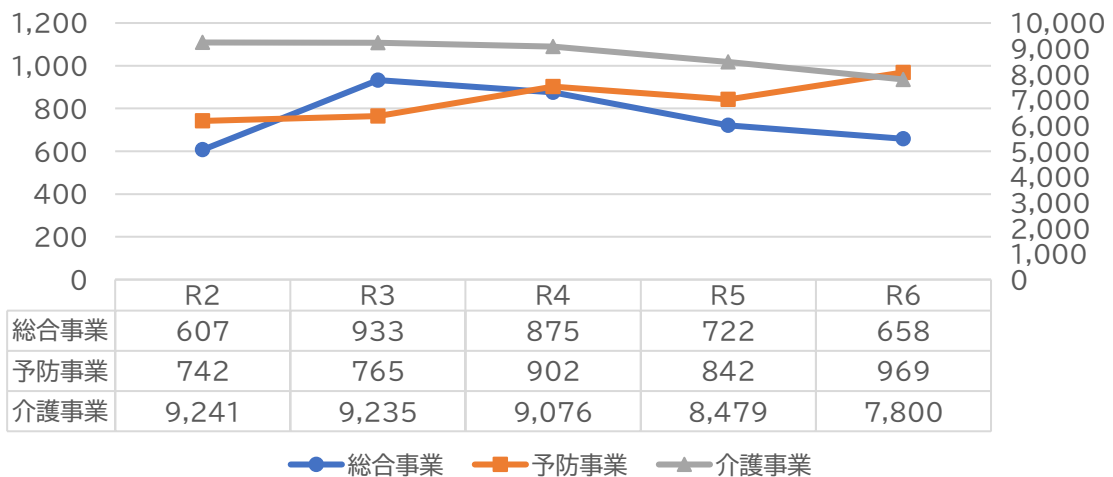
(1) 高齢者福祉サービス事業実績推移



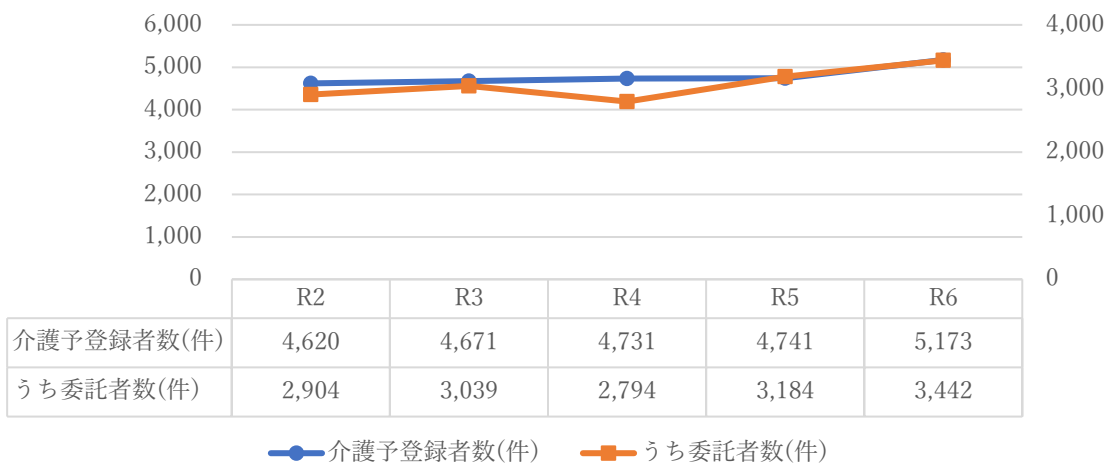
事業実績推移(過去5年)
《外出支援通所サービス運営事業》

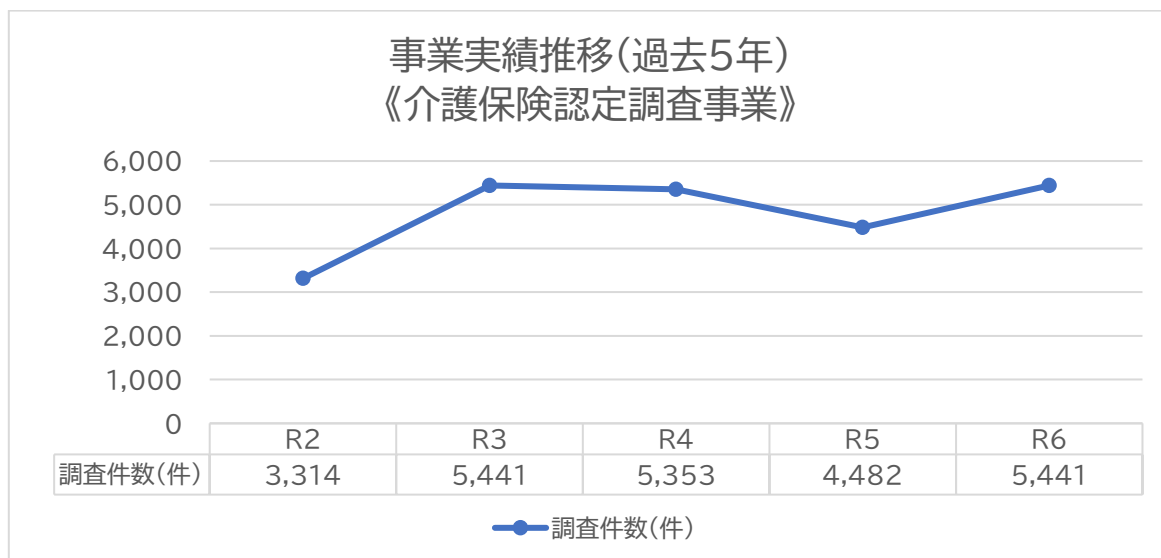


事業実績推移(過去5年)
《居宅介護支援事業》

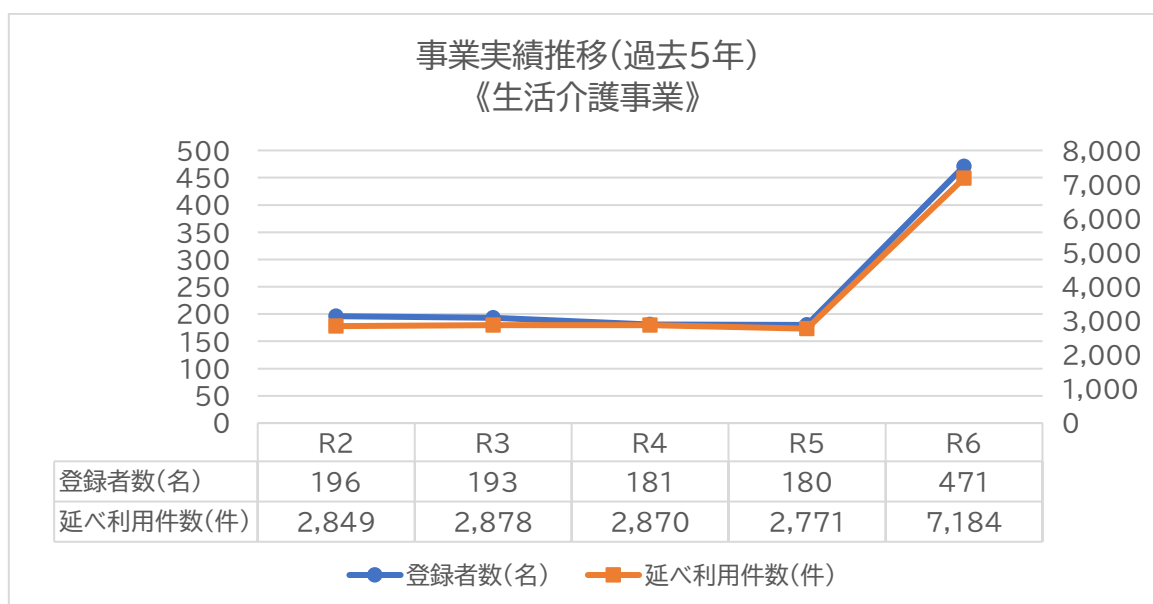
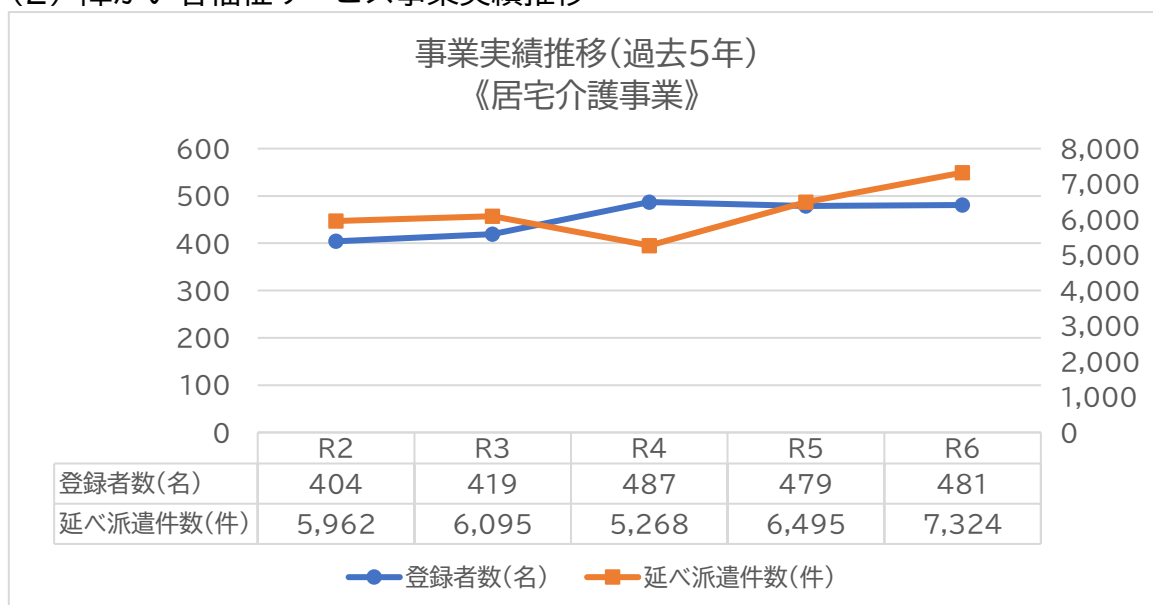


事業実績推移(過去5年)
《地域包括支援センター》



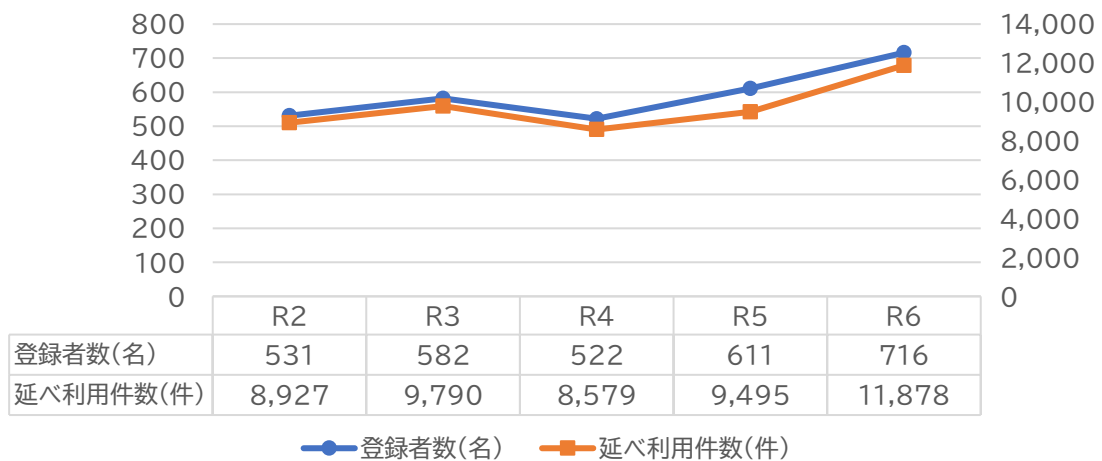


(2) 障がい者福祉サービス事業実績推移

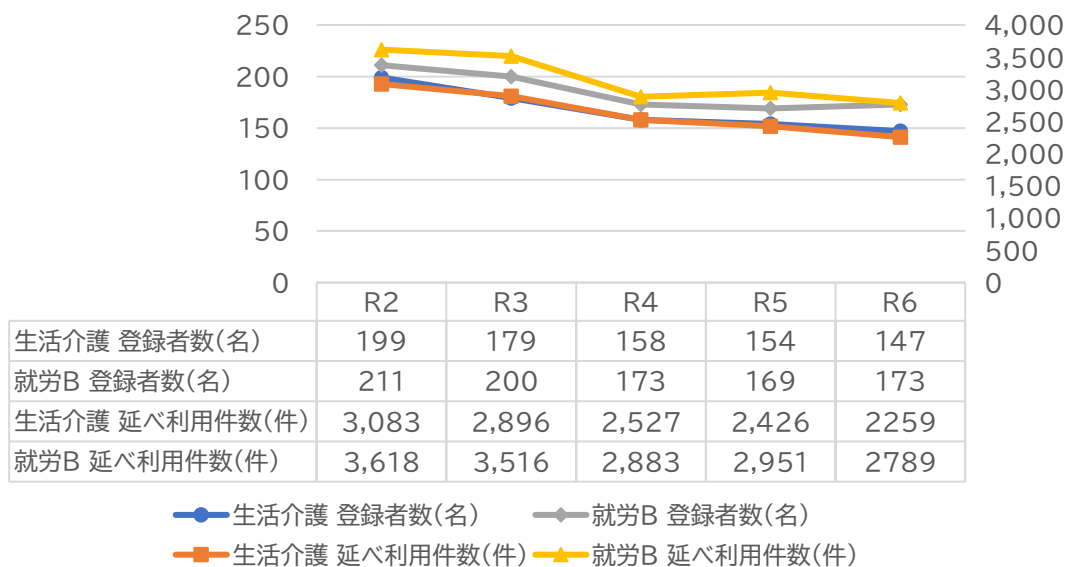


※R6の伸び幅は、サン・ウイングスみくもが多機能型事業所から生活介護事業所へ事業再編を行ったため

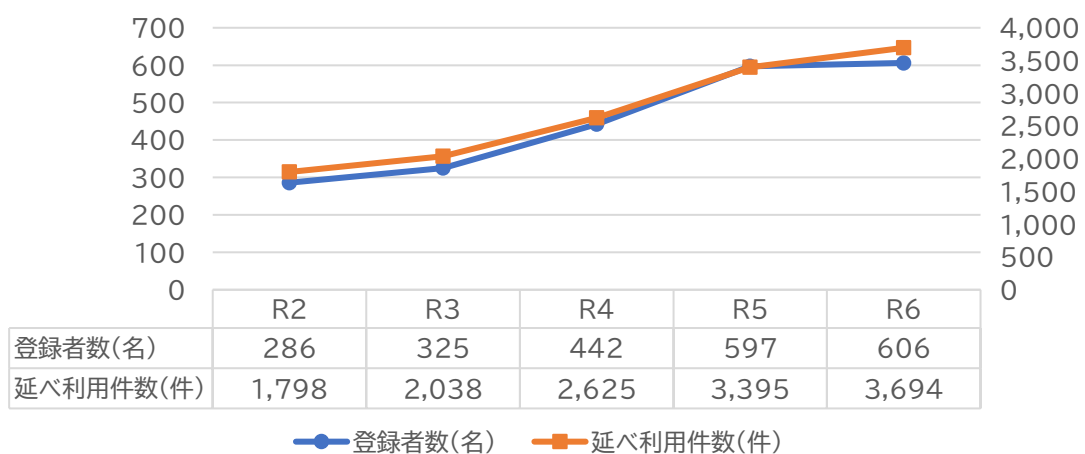
事業実績推移(過去5年)
《就労継続支援B型事業》



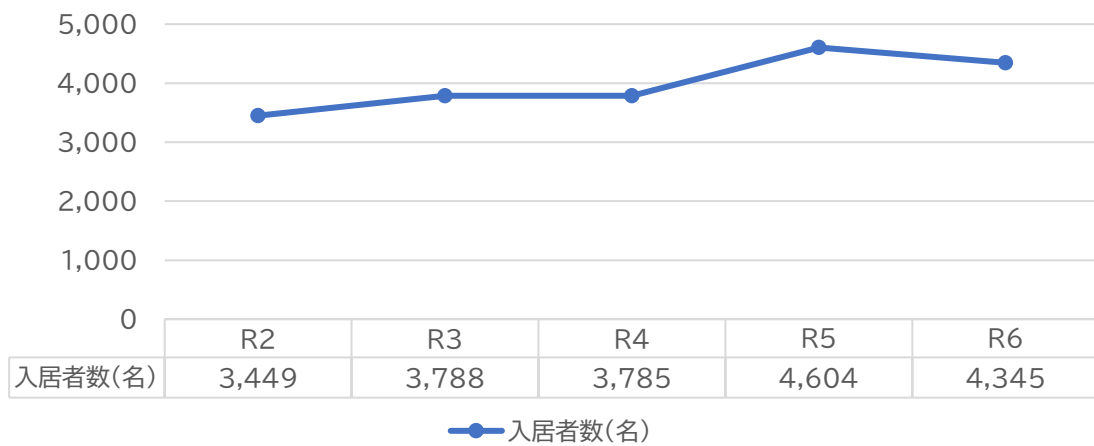
事業実績推移(過去5年)
《多機能型事業》



事業実績推移(過去5年)
《日中一時支援事業》



事業実績推移(過去5年)
《共同生活援助事業》



事業実績推移(過去5年)
《障がい者特定相談事業・障がい児相談事業》

